

ロシア運輸相：機器の正常でない動作の原因を突き止めなければならない

(スプートニク 2016年12月29日 20:11)

© Sputnik/ Nina Zotova <https://goo.gl/9hDBCY>

ブラックボックスを完全に解読し、すべての実験を徹底的に分析した後で初めて、ソチにおける露軍機 Tu-154 墜落の原因について明確な結論を引き出すことができる。ロシアのマクシム・ソコロフ運輸大臣が記者会見で述べた。「ロシア 24」が伝えた。

「(墜落前に) 機器の正常でない動作があったことは明らかだ。理由が何であったか専門家で突き止めなければならない。そのために特別な技術委員会が設置された」と大臣。大臣はまた、原因はブラックボックスを完全に解読したあとで初めて最終的に確定する、と述べた。現在の最優先事項は遺体の身元確認であるという。捜索・救助活動でこれまでに遺体 19 体と 230 余りの遺体の部分が発見されているという。「残念ながら、基本的な身元確認は遺体の遺伝子検査を通じて行われる」とのこと。先に報じられている通り、黒海における露軍機 Tu-154 墜落現場の集中的捜索は既に終了したが、周辺の調査は続いている。

<http://sptnkne.ws/dfEd>

プーチン大統領 シリアでの停戦に関する文書の署名について述べる

(スプートニク 2016年12月29日 22:00)

© REUTERS/ Omar Sanadiki <https://goo.gl/0lBmsF>

プーチン大統領は 29 日、外相および国防相との会談で、「今日、数時間前に、私たちが長い間待っていただけでなく、それが早まるためにたくさん活動した出来事が起こったとの連絡が届いた。3つの文書に調印された。1つ目の文書は、シリア政府と反政府武装勢力間のシリア・アラブ共和国領内における停戦に関するものだ。2つ目の文書は、停戦体制の監視に関する措置一式。3つ目の文書は、シリア(問題)解決に関する和平交渉開始に向けた用意についての声明だ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dfAK>

シリア停戦体制が 30 日 0 時から発効するーショイグ国防相

(スプートニク 2016年12月29日 22:00)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/00hwPV>

シリア停戦体制が 30 日 0 時から発効する。プーチン大統領との会談でショイグ国防相が述べた。「ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ、あばたのお許しを頂けるなら、我々は 30 日 0 時からの停戦

体制を確定します」とショイグ氏が言うと、プーチン氏は「よろしい」と答えた。

<http://sptnkne.ws/dfB8>

安倍氏、米国とロシアの間をジグザグ歩行できるか？

(スプートニク 2016年12月29日 21:32 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/akp4g0>

日本政府は「二方向的」な対露政策を行なう。共同通信が外交筋からの情報として報じた。「二方向的」な政策の本質とは、ロシアとの経済協力の実案を検討しつつも、同時にG7の立場には対抗せずに、発動された対露制裁を維持し続けるというもの。

日本のマスコミ各社は、専門家らの間からはこうした日本の二重性はEUや米国だけでなくロシアにも受け入れられないとする見解が挙げられていると報じた。これらのプレーヤーの全員が日本政権に対して外交政策、経済路線をはっきり定めるよう求めてくるだろう。

2014年3月、日本が西側諸国と共にロシアに対して発動した制裁は手ごたえのないものだったとはいえ、二国間関係に否定的な影を落とした。この時日本政府はロシアと行っていたビザ制度緩和についての懇談を一時停止し、投資協力、宇宙開発協力、危険な軍事活動の防止に関する3つの条約の締結交渉開始を無期延期した。

2016年7月、三重でのG7サミットの総括宣言の続きとして、対露制裁の有効期限はミンスク合意の実現と結び付けられた。宣言には対露制裁は「ロシアの行為がそれを求める」ようなものである場合、強化されるとも書き入れられた。

ところがこれは露日が二国間経済協力の深化に取り組む上での阻害とはならなかった。先日、12月15～16日のプーチン、安倍首脳会談では総額25億ドルに及ぶ65の合意が結ばれている。しかも合意を結んだ中にはロシア最大の石油採掘会社「ロスネフチ」など、他国からは制裁の対象とされている企業も入っている。

日本外務省はすでにロシア国民のビザ取得手続きの緩和を発表。現在、露日の間を行き来する人の数は年間10万人。ビザが緩和されればこの数値はかなり増える可能性がある。ロシア科学アカデミー日本調査センターの上級学術員、ウラジーミル・グリニユク氏は、これについて次のような見解を表している。

「安倍氏はこの、相互に打ち消しあう路線の間をジグザグ歩行していく。安倍氏はロシアとの関係拡大に断固とした姿勢を打ち出す一方で、米国との同盟関係があり、G7の一員でもある。安倍氏は必要とあらば純粋に形式的な制裁を行なおうとしていると思う。ただし形式は連合国の米国や欧州諸国にも受け入れられるようなものにしようとするだろう。日本の制限措置は今

までも、ロシアにとっても二国間協力にとっても殊更感じられるようなものではなかった。安倍氏の目的はロシアと平和条約を結び、クリル諸島を取り戻すことだ。これは彼にとっては最優先目的であり、まさにこれが日本がロシアと特別な関係を築かなくてはならないという根底にある。」

おそらく対露制裁の延長について話し合われると見られる5月26-27日のイタリアでのG7の席では安倍氏は、平和条約交渉の進展への期待に絡んだ「特殊状況」の必然性の根拠付けを迫られると見られているが、ひょっとすると、こうした必要もなくなるかもしれない。それはG7までにいくつかの極めて重要な事件がおきる可能性があるからだ。

まず1月20日、ドナルド・トランプ氏は正式に米大統領に就任する。ドイツ最大の新聞「ビルド」の報道のとおり「欧州特務機関用に実施された分析データによれば、米新大統領はキッシンジャー元米国務長官の助言に従って対露制裁の解除へと邁進するだろう」。第2に2017年春、イタリアのマッタレラ大統領がロシアへ公式訪問の予定だが、これはどう見ても形式的な訪問ではない。そして安倍首相自身も2017年の初めにロシア訪問を計画している。訪露の主たる目的はこれまでに開始されている平和条約締結問題の討議となるだろう。安倍氏はプーチン大統領の訪日では一連の重要な歩みが図られており、これからは自分は機を逃さず、二国関係を築くための好機を活かしていくと語っている。

<http://sptnkne.ws/dfCT>

ラヴロフ外相:われわれはいつでもトランプ陣営との対話のために開かれている

(スプートニク 2016年12月30日 00:39)

◎ REUTERS/ Jacky Naegelen <https://goo.gl/tJm5dv>

ロシアのラヴロフ外相はリア-ノーヴォスチのインタビューを受けて、ロシアと米国のトランプ新政権との協力関係の展望と、ロシアの「G8」復帰を待つべきかについて語った。

「プーチン大統領が一度ならず強調したように、われわれは米国の新大統領とそのチームとともに、我々のせいで起きたわけではないにせよ、2国間関係の危機的状況を克服する作業を行う用意がある。」

そう述べたラヴロフ外相は、トランプ氏が現在、自らの政権に集中する必要があることに、ロシアは理解を持って接すると発言した。

ロシアのG8参加に関してラヴロフ外相は「我々はこのフォーマットの枠組での作業の必要性を感じない。それは、複数の新たな力の中心が出現し、それ抜きでは時事的な全世界的ないし地域的な問題を、効果的に解決することが単に不可能なほど、それらの中心が強まっているためだ」と述べた。

ラヴロフ外相は例として、中国が議長国を務めたG20 杭州サミットを挙げた。これは「この協力のメカニズムの有効性、需要を全て立証した」。概して言えば、G20 サミットの有効性は、このフォーマットが先進国と新興市場国を結びつけたことにある。

主な注意は上海協力機構とBRICSの枠組みでの協力発展に割かれている。国際法と国連憲章を基にした、これらの国家間組織の枠組みでの協力は「世界と地域の物事における肯定的で統一的な始まりを確たるものにする」とラヴロフ外相は強調した。

インタビューではまた、シリア情勢安定化の問題におけるロシアと米国の協力というテーマにも触れられた。シリアにおけるロシア航空宇宙軍の作戦の最初から、ロシアは、ロシアと米国の軍務に関する省庁間の繋がりを確立しようとしていた。だが、「米国政府は実際に『穏健』反政府派とテロリストを分離する状態になかったか、もしくは単に分離達成を願わなかった」とラヴロフ外相は述べた。

最後にラヴロフ外相は、シリア領内だけでなくとも、テロとの戦いの分野においてトランプ政権と協力する用意が、ロシアにはあることを指摘した。

<http://sptnkne.ws/dfJp>

米国、ロシアの外交官 35 人をワシントン、サンフランシスコから追放

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 06:17)

© AP Photo/ Susan Walsh <https://goo.gl/I04gI6>

情報筋によれば、72 時間以内の米国からの出国命令が出されたのはロシア人外交官 35 人。

<http://sptnkne.ws/dfQY>

米政権、連邦保安庁、露軍参謀本部情報総局など 5 つの省庁機関に制裁発動

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 06:18)

© Sputnik/ Sergei Pyatakov <https://goo.gl/MKsmzn>

米政権はロシア連邦保安庁、ロシア連邦軍参謀本部情報総局をはじめとする 5 つの省庁に対して制裁を発動。米財務省のサイトが発表した。米財務省は今回の制裁発動について、これらの省庁機関があたかも米大統領選挙時期におけるサイバー攻撃に加担したためと理由付けをしている。

<http://sptnkne.ws/dfRs>

シリアでの人間の臓器市場:誰が、どうやって、そしていくらで国境を超えて臓器を売ったのか

(スプートニク 2016年12月30日 05:01)

© AP Photo/ <https://goo.gl/zjxwTP>

アレッポ解放の後、テロリストがトルコ国境を通じ、人間の臓器を大量に販売していたことが確認された。「救急医療」の医者は実際には人間の臓器摘出と販売を手がけていた。「救急治療」の医者と患者がスプートニクのインタビューに応じた。

無理やり臓器ドナーにさせられたアブ・ムハメド氏はスプートニクに語ったところ、爆発や銃撃戦が起きた現場には即座に、戦闘員が運転する「救急車」がやってきていた。死者や負傷者を集め、その後、臓器を摘出するのだ。「私たちがグレネードランチャーで攻撃されるとすぐに、『救急治療』のために戦闘員がやってきました。結果、私の脾臓の一部と腎臓が盗まれました。死体の値段は2万5,000リラ(約83万円)、負傷者の体は15万リラ(約500万円)。戦争で負傷した人が、病院に毎日、潜在的な臓器ドナーとして運ばれてくる。」

アレッポの法医学の専門家からなるグループの証言によれば、テロリストの支配下にある地域では、シリアとトルコの国境は好き勝手に超えられている。町には、いわく人道的援助を行っていたという外国人が現れていたが、実際にはこれは、外国の医者とともに人間の臓器を奪い、国境の外に送っていたマフィアのメンバーだった。

医師のバグジャト・アクルシュ氏によると、このような犯罪の被害を最も受けやすいのは、シリア北部と東部の紛争が激化している場所と、難民キャンプにいる女性、子どもだ。

先に伝えられたところ、販売のため臓器をすべて引き抜かれてぼろ雑巾のような姿になった夫の遺体が、妻であるアレッポの女性のもとに戻された。

<http://sptnkne.ws/dfV7>

ドゥテルテ大統領、米大使をスパイ呼ばわり

(スプートニク 2016年12月30日 05:33)

© REUTERS/ Lean Daval Jr <https://goo.gl/0ZnU1J>

フィリピンのドゥテルテ大統領は「CNN Philippines」テレビのインタビュー中に、米国の大使をCIAに関係したスパイだと呼んだ。「米国大使の大部分は、全員ではないが、本当に職業的な大使ではない。彼らはスパイでCIAに関係している」とドゥテルテ大統領は述べた。さらに大統領は、米国大使らの強みは、外国政府の弱体化にあると指摘した。

先に伝えられたところによると、フィリピンのドゥテルテ大統領が、犯罪の対策手段について語

った。その一つは、犯罪者を高所から投げ落とすというものだった。

<http://sptnkne.ws/dfV8>

ペスコフ報道官：我々は米国政府からロシア側に声明された根も葉もない非難には全く同意できない

(スプートニク 2016年12月30日 06:31)

◎ Sputnik/Host photo agency/Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/fUCWx5>

ロシアは、米国側から向けられた新たな制裁発動の口実としての非難を否定する。ロシアのドミトリー・ペスコフ報道官は記者団に対し次のように述べた。「我々は、ロシア側に向けて声明された根も葉もない、いかなる主張や非難にも全く同意できない。」

「先にも述べていたように、われわれはこのような決定とこのような制裁を根拠のない、国際法の観点から違法であるものだと考える」とペスコフ報道官は付け加えた。

米国の新たな制裁措置に対するロシアの対抗措置は相互主義に基づくものになる。対抗措置はブーチン大統領が定める。ペスコフ大統領報道官が発表した。さらに報道官は、米政権がすでにどん底にあるロシアとの現在の関係を完全に台無しにすることを目指していると述べた。

<http://sptnkne.ws/dfSV>

米務省は稲田防衛相の靖国参拝を批判

(スプートニク 2016年12月30日 06:58)

◎ REUTERS/ Kyodo <https://goo.gl/eImNtx>

米務省の報道担当者は29日、稲田朋美防衛相が真珠湾訪問の翌日に靖国神社参拝を参拝したのについて「歴史問題は『癒しと和解』を促す形で取り組むべきだ」と暗に批判したことは読売新聞の取材で明らかになった。

一方、米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（電子版）は「日本の防衛相が、真珠湾攻撃の犠牲者を慰霊する式典出席から帰国したその翌日に、周辺国から『日本の軍国主義の過去を美化している』と見なされている神社を訪問した」と批判的に伝えた。アジア外交に対する多面化し過ぎたアメリカ政策があらわにされる。

<http://sptnkne.ws/dfUP>

米国の新制裁措置に対する対抗措置についての露外務省の声明は金曜日に—ザハロワ外務報道官 (スプートニク 2016年12月30日 07:02)

© Sputnik/ Eugene Odinkov <https://goo.gl/05iG7q>

米国が導入した新たな制裁措置に対する対抗措置についての、ロシア外務省の公式声明は金曜日になされる。ロシア外務省のザハロワ報道官が次のようにフェイスブックに投稿した。

「明日には公式声明、対抗措置など多くのことがある。」

ザハロワ報道官によると、米国市民は現在、国際テロリストや敵軍ではなく、自国の大統領によって侮辱された。

「今回、来る次期政権のために後回しできない仕事の数を最大限に増やし、米国政府に平手打ちを食らわせたのは、その主人本人だ。包括的でなければならなかったのは、中東での措置であって、復讐ではない」とザハロワ報道官は述べた。

<http://sptnkne.ws/dfVy>

NY外為：ドル下落 116 円台、対ロシア追加制裁の影響も (スプートニク 2016年12月30日 08:04)

© REUTERS/ Brendan McDermid <https://goo.gl/RnMIVP>

9日のニューヨーク外国為替市場では、ドルが一時、週初来の安値に下落。その後も軟調な展開が続いている。7年債入札（発行額 280 億ドル）の順調な結果を受けて米国債利回りが下げを拡大したことと、ロシアに対する米国追加制裁が発表されたことが手掛かり。ニューヨーク時間午後3時12分現在、ドルは円に対し前日比0.5%安の1ドル=116円65銭。対ユーロでは0.7%下げて1ユーロ=1.0483ドル。また、29日のニューヨーク株式市場のダウ工業株30種平均は続落し、前日比13.90ドル安の1万9,819.78ドルで取引を終えた。ブルームバーグが報じた。

<http://sptnkne.ws/dfVK>

中国に空母が必要になったのはなぜか？

(スプートニク 2016年12月30日 08:06 ドミトリー・ヴェルホトウロフ)

© AP Photo/ Li Tang <https://goo.gl/qZigIa>

2016年12月26日、中国海軍の空母「遼寧」が率いる艦隊が、複数の国が領有権を争う南シナ海

に入った。中国国営の新華社通信が報じるところ、今回の航行の目的は、遠洋訓練の実施にある。

遼寧（りょうねい）は渤海で射撃訓練を行った後、沖縄本島と宮古島の間を通過し、沖縄から約100海里のところ台湾の東側を回り込み、ルソン海峡を横切り南シナ海に入った。日本の海上自衛隊は艦隊の航路を注意深く監視していた。菅官房長官によると、中国艦隊の動向は引き続き注視される。日本の危惧は理解できる。艦載機を乗せた中国空母が公海で確認されたのは初めてであった上に、空母航行中のある時点で、沖縄は当然、艦載機の射程範囲に入っていたからだ。

遼寧の艦載機は主に、ロシアの艦載戦闘機スホイ 33 と同様の性能を持つ J-15 艦載戦闘機。そして、これはあらゆる艦隊に必要な演習というだけではなく、中国の軍事力誇示と、係争海域で軍事力を用いることができるという誇示でもあることは明らかだ。

12月16日、中国海軍が同海域で米国の無人潜水艦を奪ったことは記憶に新しい。無人潜水艦が拿捕されたのはフィリピン・ルソン島の西50海里で、中国が南シナ海で主権を主張する境界線「九段線」付近。短い調査の後、潜水艦はすぐに返還された。事件は解決したが、わだかまりは残った。なぜならこれは、南シナ海で集中的な偵察が行われていることを証拠付けているかもしれず、そうであれば、緊張の高まりが避けられないためだ。

さて、なぜ中国に空母が必要になったかだ。中国は経済、産業力に関わらず、ウクライナで未完成の空母「ワリヤグ」を買うチャンスが現れるまで、長いあいだ、自前の空母を作ることができなかった。ロシアの空母「アドミラル・クズネツォフ」に類似するワリヤグは、大連の港に運ばれて改修され、2012年9月には就役した。これで空母建設の経験を持つにいたった中国の造船業者は、同様のタイプの2隻目の空母建設に着手している。一方、公海での覇権争いのためには空母1隻を持ったところで、まして2隻ですら足りず、しかも中国東岸からの海への出口は、米国と日本を含むその同盟国の空軍基地によって遮断されているからだ。

中国が空母を手に入れた理由は、より控えめだが、少なからず重要な課題である、海上輸送の保護のためという可能性が一番高い。数年前、米軍事専門家の間で、中国の海上輸送の封鎖の可能性が検討されたことがあった。これは石油を主とする多数の原料輸入に依存している中国経済に、著しい損害を与えるはずだった。中国に入る船は主にマラッカ海峡を通るため、輸送をめぐる闘いの主な場は南シナ海だった。複数の国が領有権を争う南シナ海・南沙（スプラトリー）諸島と、南シナ海の大部分における立場強化を中国が目指しているのもこのためだ。空母はこの主権主張の強化のためにも中国に必要なのだ。

このように、空母「遼寧」と現在、造船中の2隻目の空母には、攻撃的な作戦よりも、急激な情勢悪化や軍事紛争の際にリスクゾーンで商船団を護衛するためのエスコート船という役割が課されると仮定できる。いずれにせよ、中国政府には、自国の海上コミュニケーション保護のためにあらゆる対策に走る準備がある。

そのため、遼寧1隻では日本に対する脅威にならないものの、中国の空母艦隊発展とともに、状況が変わる可能性もある。3隻ないしは4隻の、完全に装備された空母でもあれば、米国とその同

盟国に対する正面攻撃に用いられる可能性もあり、中国側はその攻撃で勝利することだって十分あるからだ。いくつかの情報によると、遼寧は J-15 艦載戦闘機 30 機を搭載できる。搭載機の数は、評価によって 22 機から 36 機と幅があるものの、空母「遼寧」が 3 隻ないしは 4 隻もあればそれによる大規模攻撃は著しい損害を与えるだろう。そして、日本の航空自衛隊と海上自衛隊の基地が最優先目標のリストにあることはよく知られている。

<http://sptnkne.ws/dfVN>

米次期大統領、対露追加制裁の事情を確かめたいと発言

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 08:51)

© REUTERS/ Carlo Allegri <https://goo.gl/hnj9RI>

現大統領によって新たな対ロシア制裁されたことを受け、ドナルド・トランプ次期大統領はロシアに対する追加制裁に関する事情聴取のため、米国情報当局に面会するつもりがあると発言した。

「我が国とその偉大なる国民のために利益になるので、私は来週に情報当局のトップらと会って、今回の事柄を詳細に説明してもらう予定です。」と同氏は声明した。リア・ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dfVS>

マスコミ：キャメロン前英首相が NATO 事務総長に？

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 09:34)

© AP Photo/ Virginia Mayo <https://goo.gl/d7HKKe>

英国のキャメロン前首相は、NATO 事務総長の有力候補の一人と考えられている。デイリー・メール紙が、匿名の消息筋の話として報じた。NATO 消息筋によると、英国は米国に続いて「軍事面で最大かつ最も重要な国である」ため、NATO で確固とした地位を占めている。

キャメロン氏と近い関係にある役人らは、英国はキャメロン氏の政界復帰によって得をするだけだと述べた。また役人らは、キャメロン氏はそのような可能性を検討する用意があると指摘した。なおデイリー・メール紙によると、現 NATO 事務総長のストルテンベルク氏が同ポストから去るのは、2018 年あるいは 2019 年だという。

<http://sptnkne.ws/dfVW>

トランプ氏、新政権の主たる2つの原則を語る

(スプートニク 2016年12月30日 10:41)

© REUTERS/ Jonathan Ernst <https://goo.gl/5A3vtI>

次期米大統領に選出されたトランプ氏は新政権が遵守する2つの主たる原則を明らかにした。

「私の政権は2つのシンプルな原則に従う。それは『メイド・イン・USAを買え』ということ、そして『米国人を雇え』ということだ。」

トランプ氏は自分のインスタグラムにそう書き込んだ。

[instagram.com/ https://www.instagram.com/realdonaldtrump/](https://www.instagram.com/realdonaldtrump/)

<http://sptnkne.ws/dfVF>

メディア：アンカラでのロシア大使殺害の件でロシア女性が浮上

(スプートニク 2016年12月30日 11:28)

© AP Photo/ Burhan Ozbilici <https://goo.gl/yHB5N1>

トルコのロシア大使アンドレイ・カルロフ氏殺害の件で、モスクワの捜査班が犯人と交際していた女性を取り調べた。トルコ・ヒュリエット紙が報じた。警察筋によると、捜査によって犯人のメブリュト・メルト・アルトゥンタシュ容疑者と、現在モスクワ在住のロシア女性との繋がりが明らかになった。女性は一時、トルコの首都アンカラで暮らしていて、容疑者と恋愛関係にあった。女性はカルロフ大使殺害以前にトルコから去っていた。同紙は、犯人との関係を見つけた捜査機関は女性を召喚し取り調べた。女性は取り調べで、容疑者と関係を持っていたことがあると認めた。トルコの首都アンカラで12月19日、ロシアのアンドレイ・カルロフ大使が銃撃された。

<http://sptnkne.ws/dfWf>

日本、ロシアからのとうもろこし輸入拡大一連邦動植物検疫監督局

(スプートニク 2016年12月30日 12:30)

© Flickr/ Don Graham <https://goo.gl/XotsFT>

日本は2016年7月から2017年6月にかけての今年の農産年度で、ロシアからのとうもろこし輸入を大幅に拡大した。ロシア連邦動植物検疫監督局が発表するところ、2016年度7月から12月にかけて日本はロシアから22万7200トンのとうもろこしを輸入し、去年の農産年度全体の輸入量、1

万 3,000 トンの 17.5 倍になった。さらに、この期間に日本には 5,600 トンの小麦と 1 万 2,600 トンの大麦が輸入された。

<http://sptnkne.ws/dfWj>

アサド大統領、ロシアはシリアを防衛することでヨーロッパをテロから守っている

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 13:34)

© REUTERS/ SANA/Handout via Reuters <https://goo.gl/shKods>

「ロシアはシリアをテロリストから守ることでシリア人、ロシア人を守るのみではなく、欧州の市民をテロから守っている」。シリアのアサド大統領はダマスカスでロシア上院（連邦会議）および欧州議会の議員らによるグループと会談を実施したなかで、こう語った。シリアの国営サナ通信の報道では、アサド大統領はシリアを助けるのであれば、欧州諸国はテロリストらへの支援を立つ必要があると指摘している。

<http://sptnkne.ws/dfWW>

オバマ大統領はロシア外交官の郊外コテージを強制閉鎖

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 15:29)

© AFP 2016/ ALEXANDER NEMENOV <https://goo.gl/6DGzIh>

木曜日に発動された追加制裁は冷戦中でも使われてきたロシア大使館が運営する郊外コテージもその対象になった。オバマ政権は証拠になるようなものは一切公開されず、35 人のロシア外交官らとその家族に 72 時間以内の国外追放命令を出した。ロシア政府は後に対抗装置を打ち出すと明言した。リア-ノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dfXm>

トランプ氏補佐役、オバマ氏の対露制裁はトランプ氏を苦境に立たせるのが狙い

(スプートニク 2016 年 12 月 30 日 15:47)

© REUTERS/ Kevin Lamarque <https://goo.gl/HLOfej>

トランプ氏選挙対策本部の本部長を務め、先に大統領補佐官に推薦されたケリーアン・コンウェイ氏は米国の新たな対露制裁についてコメントし、部分的にこれはオバマ大統領およびオバマ政権がトランプ氏の行為を制限しようとする試みと指摘した。

コンウェイ氏はCNNテレビからのインタビューに答えた中で「問題の多くについてはオバマ氏にシンパシーを覚えていた人でさえ、これ（新制裁）は部分的には次期大統領を苦しい立場に追いやるためにオバマはそうしたのだと語る有様だ。（制裁発動で）政治が主たる動機となったのであれば実に悲しむべきことだ。そうした実情であると思わされることが多い。民主党政権の政権移譲はそう平和的には行なわれていない」と語っている。

コンウェイ氏は、民主党の党サーバーがサイバー攻撃を受けた事件でロシアが非難されていることについても「選挙期間中、常にこれは『ロシア、ロシア、ロシア』の仕業だと聞かされてきた。選挙開始からとにかく熱狂的な非難轟々ばかりが繰り返されている」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/dfYr>

マケイン議員、オバマ政権の対露制裁は遅すぎ

（スプートニク 2016年12月30日 16:37）

◦ AP Photo/ Matt York <https://goo.gl/hkWHcL>

米国上院軍事委員会のジョン・マケイン委員長は、オバマ政権の出した対露制裁は遅すぎた、制裁はシリアなものにはならないとの考えを示した。米国は29日、大統領選挙に介入したという理由付けでロシアの諜報機関および民間人に対する新たな制裁を発動。ロシア人外交官35人の国外追放も発表された。

マケイン議員はリトアニアの首都ヴィリニウスにある国際関係政治大学を視察した際に記者団に対して「オバマ政権がことに及んだという話は聞いた。私は歓迎する。だがこの措置は遅れをとった。オバマ政権を知るからこそ言うが、この措置はシリアスで重みのあるものにはならない」と語った。

マケイン氏は、ロシアに効き目のある方法のひとつとしてロシアの汚職事件を公にすることと指摘。この際、プーチン大統領を名指して「世界で一番の金持ち」と呼び、ロシア大統領とその側近に対して制裁を発動するよう提案した。

<http://sptnkne.ws/dfY7>

CNN、米新制裁に対するロシアの最初の対抗措置を報道

（スプートニク 2016年12月30日 19:30）

◦ Flickr/ Ayush <https://goo.gl/Dmu0KQ>

米国の新たな制裁措置に応え、ロシアは「最初の目に見える措置」としてモスクワにある英米系

の学校を閉鎖した。CNNテレビの公式サイトが報じた。

米国は29日、制裁を発動した。米国は一切の証拠を出さずにロシアの情報機関と一連の個人を「選挙介入」で非難し、35人のロシア外交官の国外追放を発表した。

CNNは「この件に詳しい米国の関係筋」を基に、「ロシアの目に見える最初の行動」にはモスクワにある「米国人と外国人用」の英米系学校の閉鎖が含まれていると報道。報道によると、学校には米国、英国、カナダの大使館の関係者の子どもが通っていた。

また、対象はセレブリャンヌィ・ボールにある大使公邸の「アクセスの閉鎖」にまでおよぶ模様。

<http://sptnkne.ws/dgx5>

ロシアは米国の制裁を対抗措置なしには置かない。相互主義のもと行動していくーラヴロフ外相 (スプートニク 2016年12月30日 20:19)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/J0wUfV>

ラヴロフ外相は、米国の新たな制裁措置に対するロシアの対抗措置についての外務省の提案が、最も迅速な手順で検討されることを期待している。

ロシア外務省はプーチン大統領に、オバマ政権により出された新たな反露制裁と、ロシアの外交官35人の米国外追放に対する対抗措置についての提案をした。外務省は、在モスクワ米国大使館の職員31人と、ペテルブルクの米国総領事館の職員4人をロシアから国外追放し、また、米国の外交官がセレブリャンヌィ・ボールにある大使公邸を使うことを禁止することを提案した。

「この提案が最も迅速な手順で検討されることを期待している」とラヴロフ外相は述べた。

米国は29日、新たな制裁措置を取った。大統領選挙の結果に影響を及ぼそうと試みたとして情報機関、会社数社、数人の個人を非難し、35人の外交官の国外追放を発表した。オバマ大統領は外交官らを「ロシア情報機関員」だと呼んだが、非難の証拠を出すことは一切なかった。ロシアのペスコフ大統領報道官は先に、米民主党全国委員会のデータベースに対するサイバー攻撃へのロシアの関与を否定した。

さらに、インターネットに関するロシア大統領顧問のゲルマン・クリメンコ氏は、ロシアのハッカーに対する非難は、システムの脆弱なセキュリティを「敵の陰謀」によって説明しようとする試みだと指摘した。

<http://sptnkne.ws/dgcG>

露外務省、制裁の対抗措置としてのモスクワの英米系学校閉鎖を否定

(スプートニク 2016年12月30日 19:56)

© Sputnik/ Maksim Blinov <https://goo.gl/y4g3ev>

ロシア政府はモスクワにある、米国大使館関係者の子供らが通っている英米系学校を、米国の制裁に対する対抗措置のために閉鎖することを命じていない。ロシア外務省は、モスクワにある、米国、カナダ、英国大使館関係者の子供らが通っている英米系学校がいわく閉鎖されるという情報にコメントした。

「モスクワにある英米系学校の閉鎖という情報は、事実と即しない」と外務省のザハロワ報道官がRBCインフォメーションシステムに対して述べた。

先にCNNが、米国の新たな制裁措置に対するロシアの最初の対抗措置について報じた。

<http://sptnkne.ws/dgx6>

在英ロシア大使館、オバマ大統領に挑発ツイート

(スプートニク 2016年12月30日 20:31)

© AFP 2016/ Luka Gonzalez <https://goo.gl/S0qqrw>

在英ロシア大使館はオバマ大統領による、35人の外交官を国外追放する旨の決定に対し、退任を控え実権を持たない米大統領は「レームダック(死に体)」だと呼ばれることを暗に示し、ツイッターの公式アカウントに「lame」と書かれたアヒルの画像を投稿した。

twitter.com/ <https://goo.gl/7A68vz>

「オバマ大統領は35人の外交官を追放。冷戦のデジャヴュ(既視感)だ。米国市民を含めすべての人がこの哀れな政権の終わりを喜んで見るだろう」と大使館はツイートした。

<http://sptnkne.ws/dgfP>

プーチン大統領、米外交官の国外追放を拒否、逆に外交官の子らをクレムリンのヨールカ祭に招待

(スプートニク 2016年12月30日 22:43)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/Y3BbdI>

プーチン大統領は米国の外交官のロシア国外への追放を退けた。大統領のこの声明はクレムリン

のサイトに掲載された。

「我々は米外交官らのために問題を作らないでおこう。」プーチン大統領はこう指摘し、「我々は誰も国外追放することはない。我々は彼ら（外交官）の家族や子どもが新年の祝日でいつも自分たちが利用する場所を禁じることはしない。逆に米外交官の子どもら全員をクレムリンで行なわれる新年とクリスマスのヨールカ祭に招待しよう」と語った。

<http://sptnkne.ws/dgg9>

プーチン大統領、ロシアはこの先の露米関係回復の歩みをトランプ氏の行なう政治に基づいて構築する

(スプートニク 2016年12月30日 22:43)

◎ Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <https://goo.gl/pYrJjY>

プーチン大統領は米国の新たな対露制裁にコメントし、米政権の新たなアプローチは煽動であり、この先の露米関係を損なう目的で出されたものと語った。声明はクレムリンのサイトに掲載された。

プーチン大統領は、ロシアには相応する報復のための根拠は揃っていると補足した上で、「報復措置を採る権利を手元に残した上で我々は「台所（世間話）」レベル、無責任な外交レベルまで自分を貶めることはしまい。この先に採る露米関係の回復のアプローチはトランプ大統領政権が行う政策に依拠して構築していく」と語った。

<http://sptnkne.ws/dggC>

シリア紛争に訪れなかった西側メディアは一体どうして紛争に「光を当て」られたのか？

(スプートニク 2016年12月30日 22:22)

◎ 写真: Official VK account of the Ministry of Defence of the Russian Federation
<https://goo.gl/p6fYCr>

ボリビアの女優、カーラ・オルティスさんは2016年3月から定期的にシリアを訪れている。オルティスさんは、シリア人とはどんな人々で、シリア紛争啓蒙における西側諸国のメディアの矛盾についてスプートニクに語った。

オルティスさんが訪れたことがあるのは、政府の保護下にある地区と解放された地域、そして武装勢力の掌握下にある幾つかのテリトリー。ある訪問でオルティスさんはアレッポ解放に居合わせた。

「アレッポでは 30 秒毎に爆発が聞こえます。そう、常に。ここに来た外国人は、このような状況下で暮らす 6 年をまともな生活と呼ぶことは無理だとはっきりと認識します。」

オルティスさんは、闘いが起きている場所で西側メディアの記者を見たことがないと認めた。「アレッポ東部を囲むシリア戦争の 6 つの前線全てに私は訪れましたが、ロシア・トゥデイ (RT) 以外は誰も見たことがありません。」

オルティスさんには、どうして影響力のある西側のメディアが、紛争の間に現場にいくにして紛争に「光を当てられたのか」が理解できない。「私は銃撃戦のさなかにいたので、そのことを語ることはできますが、彼らはどこから取材を取っているのでしょうか？」とオルティスさんは不信感を露わにする。

海外メディアはシリア人のイメージもまた歪曲している。「シリア人は平和な人々です。シリア人と知り合った時にまず起こることは、彼らの土地がこのような状態にあることに対しての彼らの謝罪です。彼らが唯一望むものは、平和です。」

先に英国の女性ジャーナリストが、アレッポの本当の情勢を語ったと伝えられた。

<http://sptnkne.ws/dgsg>

プーチン大統領、安倍首相への新年の挨拶の中で露日間の重要問題の解決での著しい進展を指摘 (スプートニク 2016 年 12 月 30 日 23:53)

© AFP 2016/ POOL/ALEXEY DRUZHININ <https://goo.gl/v9Kpqt>

プーチン大統領は安倍首相へ向けた新年、クリスマスの挨拶をおくったなかで、2016 年の露日対話は著しく活発化したことを指摘した。クレムリン広報部が明らかにした。プーチン大統領は安倍首相への挨拶で「ロシア、ペルー、日本での建設的交渉によって二国間の懸案の重要問題の解決で著しい進展がのぞめた」と綴った。プーチン大統領は露日間に真のパートナー関係を構築するための共同作業の続行に期待を表した。

<http://sptnkne.ws/dgkh>

米国から退去しなくてはならないロシア人は 96 人 (スプートニク 2016 年 12 月 31 日 00:19)

© Sputnik/ Maxim Blinov <https://goo.gl/yC3KqR>

ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官は「米国から退去しなくてはならないのは、外交官ばか

りではない。彼らの家族も含まれる」と指摘した。

先に伝えられたところによると、米国、ロシアの外交官 35 人をワシントン、サンフランシスコから追放した。

<http://sptnkne.ws/dgnE>

ロシア 国連安保理事会にシリア停戦決議案を送付

(スプートニク 2016 年 12 月 31 日 02:43)

◦ Sputnik/ Ali Hassan <https://goo.gl/hhhUPt>

ロシアは、国連安全保障理事会に、シリアでの停戦を進める決議案を送った。ロシアは、土曜日に、この決議案をめぐる投票が行われるよう期待している。ロイター通信が、ロシアのヴィタリー・チュルキン国連大使の発言を引用して伝えた。なお、チュルキン大使は「ロシア政府は、シリアに関する交渉に真剣に加わりたいと、実際に望む人々すべてが参加することを歓迎する」と付け加えた。シリア政府軍と複数の武装グループは、シリア全土で 12 月 30 日 0 時から停戦体制を遵守することで合意に達している。

<http://sptnkne.ws/dgxJ>

日本 日ロ首脳会談を考慮しシリアに関する G 7 諸国の立場に同調せず—共同電

(スプートニク 2016 年 12 月 31 日 02:48)

◦ AFP 2016/ KARL-JOSEF HILDENBRAND <https://goo.gl/vaqz9c>

日本は、12 月 7 日に公表されたシリアに関する他の G 7 諸国の共同声明に、日ロ首脳会談に否定的な影響が出るのを避け、加わらなかった。共同通信が 30 日、伝えた。G 7 の欧米諸国首脳は 12 月初め、シリア内戦の激戦地アレッポで病院や学校を空爆したアサド政権とその後ろ盾になっているロシアに対する非難声明をまとめた、安倍首相にも賛同を求めたが、日本政府は、これを断ったとのことだ。共同通信は、政府筋の次のような言葉を引用し伝えた—

「我々は、この問題について外務官僚及び首相官房参加のもと協議した。その結果、欧米ではなく、ロシアをまず優先すべきだとの決定が下された。なぜなら、我々が、この声明に加わっても、シリア紛争調整の大勢には影響がないからだ。」

<http://sptnkne.ws/dgxF>

プーチン大統領 世界の指導者に新年の挨拶状を送る

(スプートニク 2016年12月31日 03:50)

© AP Photo/Alexei Druzhinin/Sputnik, Kremlin Pool <https://goo.gl/Hz09Ei>

クレムリンの公式サイト上に、世界の大統領や首相など各国首脳宛てた、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領の新年の挨拶状が公表された。

プーチン大統領が送った挨拶状のリストの中には、日本の安倍首相の他、ドイツのメルケル首相、中国の習近平国家主席、米国のトランプ次期大統領など世界各国の首脳が含まれているが、ウクライナのポロシェンコ大統領は含まれていない。

<http://sptnkne.ws/dgxP>

プーチン大統領「ロシアとトルコは関係強化に向け実りある仕事を続けてゆく」

(スプートニク 2016年12月31日 04:58)

© Sputnik/ Алексей Дружинин <https://goo.gl/yeDMW0>

ロシアのプーチン大統領は、新年の挨拶状の中で、トルコのエルドアン大統領に対し「ロシアとトルコは、関係強化に向け、今後も実りある仕事を続けてゆくだらう。両国は、国際問題に関して協同行動をとるだろう」と述べた。クレムリン報道部が伝えた。

<http://sptnkne.ws/dgxR>

プーチン大統領 フランスとの二国間協力維持に期待

(スプートニク 2016年12月31日 05:01)

© Sputnik/ Алексей Дружинин <https://goo.gl/51Sxam>

ロシアのプーチン大統領は、フランスのオランド大統領に送った新年の挨拶状の中で「ロシアとフランスが、二国間協力の肯定的ポテンシャルを維持し、著しくそれを増大させてゆくよう希望する」と述べた。

30日、クレムリン報道部が伝えた。

<http://sptnkne.ws/dgxT>

フィリピン大統領、俺には「格好つけてる暇はない」

(スプートニク 2016年12月31日 06:08)

© AP Photo/ Radio Television Malacanang <https://goo.gl/qdrbRj>

フィリピンのドゥテルテ大統領は世間に気に入られようとする気はない、その代わりに自らの大統領公約を遂行しているとの声明を表した。シンガポール最大の新聞「ザ・ストレーツ・タイムズ」紙が報じた。「私は支持率の高い大統領であろうとはしない。私の仕事、私があなた方に約束したことは汚職と麻薬の違法取引の撲滅だ。私はこれを行なう。私には格好をつけている暇はないのだ。」大統領は地元テレビ局からのインタビューにこう答えた。

ドゥテルテ大統領は、選挙キャンペーン時にフィリピンの犯罪を一掃するという厳かな誓いを行なったことを指摘した。

<http://sptnkne.ws/dgxY>

米通信社：対ロシア制裁はトランプ次期大統領に厳しい選択を迫る

(スプートニク 2016年12月31日 07:29)

© AP Photo/ Matt Rourke <https://goo.gl/AWbkcl>

米国のオバマ大統領は、彼が導入した対ロシア制裁措置を解除するのか、それともロシアとの関係を改善するとの選挙中の公約を覆すのかという厳しい選択の前に、トランプ次期大統領を立たせている。ブルームバーグ通信は、このように伝えた。

通信社の指摘によれば、次期大統領令により制裁が解除された場合、トランプ氏は、米国議会で影響力を持つ重要な議員達の側からの圧力にさらされる可能性がある。こうした議員達は、オバマ現大統領の政策を支持している。またブルームバーグ通信は、トランプ新政権が、アメリカ国民に対し、対ロシア制裁解除の必要性を納得させるのは容易ではないだろうと見ている。

<http://sptnkne.ws/dgya>

ウクライナ、ロシアからの書籍の流入制限法に大統領が署名

(スプートニク 2016年12月31日 10:33)

© Sputnik/ Nikolay Lazarenko <https://goo.gl/Jdykou>

ウクライナのポロシェンコ大統領は、ロシアからの「反ウクライナ的内容」の印刷物のウクライナ市場への流入を制限するメカニズムに関する政府の法律に署名した。これは30日、議会の公式サ

イトに発表された。

同法案は12月8日、ウクライナ最高議会で承認されている。ウクライナ政権は議会のこうした措置はウクライナの出版市場を刺激し、ウクライナ語の出版物がより多く出回るようになるだろうとの見方を示している。

<http://sptnkne.ws/dgJE>

米国人専門家：報復制裁を実施しないことでプーチン大統領は再びオバマ大統領に勝った

(スプートニク 2016年12月31日 15:57)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/SORHwk>

プーチン大統領は、米国に対する報復措置を実施しないことに決め、政治の場で再びオバマ大統領に勝った。30日、政治学ユーラシアセンターのアール・ラスムセン副所長が、リア・ノーヴォスチ通信に語った。ラスムセン副所長は、「オバマ政権が米選挙システムへの侵入について（ロシアに対して）根拠のない非難を行い、ロシアの外交官や団体に対して制裁を発動した翌日、プーチン大統領は、はるかに優れた外交的対応をして再び米国に勝った」と述べた。

ラスムセン氏は、「ロシア駐在の米外交官に対して同等かつ当然の行動をとるべきだとする提案がなされたにもかかわらず、プーチン大統領はそれより上であること、そしてトランプ次期米大統領の外交政策の追加的な障害をつくるのを避けることを決めた」と指摘し、「待ち、米新政権の出方をみるという（プーチン大統領の）決定は、プーチン大統領本人とその外交政策チームの高い専門家的技量を物語っている」と語った。

<http://sptnkne.ws/dg8e>

バグダッドでテロ：犠牲者は数十人に

(スプートニク 2016年12月31日 19:19)

© AP Photo/ Khalid Mohammed <https://goo.gl/cZDcX1>

バグダッド中心部で二度の爆発が起きた。これまでの情報によると、28人が死亡。AP通信が報じた。負傷者は現在のところ54人。同通信社によると、警察は、爆発が自爆テロ犯によるものだと見て捜査を行っている。爆発が起きたのは31日、市内中心のアル・シナク地区にある市場で、爆発当時は多くの人があった。

<http://sptnkne.ws/dgJB>

トランプ氏「ロシアにもて遊ばれている」CNNとNBCを嘲笑

(スポーツニク 2016年12月31日 20:16)

© REUTERS/ Carlos Barria <https://goo.gl/0m55Tn>

トランプ次期大統領はCNNとNBCテレビを、米国政府の新たな反露制裁とロシア政府による対抗措置をいかに報道したかを痛烈に批判した。トランプ氏はツイッターに書き込んだ。

「ロシアはCNNとNBCをもて遊んでいる。観るのもおかしい。彼らは何も察していない。フォックスニュースは全てを理解している！」

トランプ氏は先の30日に、プーチン大統領のこのような反応を「素晴らしい手」だと述べた。

29日、オバマ政権はロシア国民と、連邦保安庁、ロシア軍参謀本部情報総局を含むロシアの機関に対して新たな制裁措置を取った。さらに、35人のロシアの外交官に72時間以内の国外退去を伝えた。

30日、プーチン大統領は米国の措置に対して米国の外交官をロシア国外追放する案を棄却した。

<http://sptnkne.ws/dg5Y>

プーチン大統領の新年のメッセージ

(スポーツニク 2016年12月31日 22:52)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/QvzClJ>

ロシアのプーチン大統領は、毎年恒例のロシア市民向けの新年の挨拶を行った—

敬愛するロシア市民の皆さん！ 大切な友人の皆さん！

2016年が去ろうとしています。今年はありふれた年ではありませんでしたが、私たちが直面した困難は我々を団結させ、前進するための私たちの可能性の巨大な余力の顕在化へと駆り立てました。

重要なのは、私たちが自分自身を、自分の力を、自分の国を信じているということです。私たちは働いています。私たちは首尾よく働いており、多くのことが上手くいっています。勝利と成果、理解と信頼、真の、心からのロシアへの思いやりに対し、皆さんに心から感謝したいと思います。

ロシアは、巨大でユニークで素晴らしい国です！ 私たちを一つにしているのは、共通の思いやりと共通の喜びであり、新年を家族と一緒に最高の希望をもって迎えるという古き良き伝統が一つにしています。

ですが今日は、全ての人がお祝いのテーブルについているわけではありません。ロシア市民の多くが、自宅から遠く離れているのも含め、ロシアの安全性を確保したり、企業で働いたり、病院に宿直したり、列車を運行、飛行機を運航させています。今自分の仕事の義務や戦の義務を遂行している人すべてに、私は最も心のこもった新年のご挨拶を申し上げます。

大切な友人の皆さん！

今私たちはモスクワ・クレムリンの大時計の打つ音を今か今かと待ち焦がれ、かつてなかったほどはっきりと時間の経過を耳にし、未来が近づいてくるを感じています。このようなことが起こるのは、この瞬間、このすばらしい皆に愛されている祝日だけです。

この祝日には独自の秘密があります。例えば、私たち一人一人は大晦日から新年にかけて、ちょっとだけ魔法使いになれるのです。そのためにただ必要なのは、親に愛と感謝の気持ちを持って接し、自分の子供たちや家族を心配りや思いやりで包み込み、職場の同僚を尊重し、友情を大切に、真実と正義を守り、慈悲深くあり、支援を待っている人々を助けることです。これがすべての秘密です。

全ての私たちの夢、純粋な思い、善意が叶い、実現しますように。それぞれの家が喜びと愛で満たされますように。私たちの心にとって大切な通り、都市、町がさらに美しく、魅力的なものになりますように。

私たち皆の偉大な祖国ロシアに平和と繁栄を。皆さんに幸福と健康、無事息災を。おめでとう！
2017年、あけましておめでとう！

<http://sptnkne.ws/dg8H>

中国、トランプ氏理由で台湾に「真剣な措置」を取るか

(スプートニク 2017年01月01日 00:12)

◦ Flickr/ Alex Lin <https://goo.gl/0wioK7>

中国指導部は台湾に対する制裁措置を準備している。ロイターが31日に報じた。トランプ次期大統領が台湾政府の支持を公に示したことを受け、中国政府は台湾に対して制限措置の発動を検討している模様。

大統領選挙勝利後、トランプ氏が台湾の首相と電話会談を行ったのは記憶に新しい。米国歴代の大統領は長きに渡り、「1つの中国」政策を支持して、台湾首脳との接触を避けていた。一方で、台湾は米国の軍事的支援を常に見込み、享受している。

トランプ氏はこの政策を放棄し、米国には台湾と強い経済・軍事的つながりがあり、直接の接触を避けることは正しくないだろうとの声明を出した。一方、台湾を自らの領土だと考えている中国はこの声明を非常に敵対的だととらえた。

<http://sptnkne.ws/dgEX>

露外務省：米民主党員がトランプ氏に復讐しようとしているような感じがする

(スプートニク 2017年01月01日 07:00)

© Sputnik/ Eugene Odinkov <https://goo.gl/VVpgi6>

ロシアは、米民主党チームが自分たちの最後の決定によって米大統領選で勝利したトランプ次期米大統領に復讐しようとしているように感じている。露外務省のザハロワ報道官が発表した。

報道官は、今「去りゆく政権は、行きつくところがないことを理解せずに、二国関係を悪化させようとする試みを止めようとはしていない」と述べ、「正直に言えば、民主党員のチームは今、トランプ氏の就任まで1ヵ月の間に、単にばかげた決定を承認して、トランプ氏の勝利に対して同氏に復讐しようとしているような感じがする」と語った。

ザハロワ報道官はそのような行為の例として、シリア反政府勢力への重火器供与に関する最近の決定を挙げた。

<http://sptnkne.ws/dgJZ>

トルコ空軍、「ダーイシュ（IS）」の首領を殲滅

(スプートニク 2017年01月01日 09:19)

© AFP 2016/ Stringer <https://goo.gl/MGONj3>

トルコ空軍機はシリア北部アルバブ市付近でさらにもう1人の「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の首領の殲滅に成功した。トルコのアナドル通信がトルコ治安維持機関内の消息筋からの情報として報じた。

消息筋によれば、「エヴラトの盾」作戦の中でダーイシュの中で「首長」と呼ばれるうちの1人、アブ・エンサリが殲滅された。このほか、シリア北部でテロリストの野戦司令官として知られるアブ・グセイン・トゥヌシも同じく殲滅されている。ガゼタ・ルが報じた。

なお先に伝えられたところによると、アレッポ解放の後、テロリストがトルコ国境を通じ、人間の臓器を大量に販売していたことが確認された。「救急医療」の医者は実際には人間の臓器摘出と

販売を手がけていた。「救急治療」の医者と患者がスプートニクのインタビューに応じた。

<http://sptnkne.ws/dgKd>

トランプ氏、米国へのサイバー攻撃に対するロシアの責任に疑惑

(スプートニク 2017年01月01日 17:11)

◦ AFP 2016/ JEFF KOWALSKY <https://goo.gl/kUDnuC>

トランプ次期大統領は、ロシアが米国で起きたサイバー攻撃に責任があるということに関して疑いを抱いた。ロイターが報じた。

トランプ氏によると、民主党全国委員会のサーバーのハッキングに責任があるのは、ロシアではなく、「誰か他の人物」である可能性がある。氏は「ロシア人ハッカー」の件に関して他の人が知らないことを、自身は多く知っていると述べた上で、詳細は来週にも明らかにすると約束したトランプ氏はまた、米国がロシアと中国を含めた多くの国と「素晴らしい関係」をもつようになるとの期待を示した。

10月、米国の諜報機関は、同国選挙システムに対するサイバー攻撃の裏にはロシアのハッカーがいると発表した。

<http://sptnkne.ws/dgJ9>

金正恩氏、南北関係の改善を呼びかけ

(スプートニク 2017年01月01日 19:25)

◦ REUTERS/ KCNA <https://goo.gl/kUHBij>

朝鮮民主主義人民共和国の最高指導者、金正恩氏は1月1日の国民へのテレビ演説を行なった中で韓国との関係改善を呼びかけた。韓国の聯合ニュースが報じた。

「今年は全国民の力をあわせ、自立した独立をまっすぐに目指さねばならない。南北関係の改善、軍事衝突及び戦争危険性という忌々しい脅威を減らす積極的な政策を構築せねばならない。」

金正恩氏は自国民に対してこうした呼びかけを行なった。

<http://sptnkne.ws/dgN5>

生存者が語る—イスタンブールのナイトクラブでのテロからいかに助かったか

(スプートニク 2017年01月01日 20:10)

© REUTERS/ Osman Orsal <https://goo.gl/bShxYd>

新年を祝っている最中にテロリストが押し入り銃を乱射したイスタンブールのナイトクラブにいた人々が、いかに助かったかを語った。

銃乱射テロは1日午前1時過ぎ、イスタンブールで人気のナイトクラブ「レイナ」で起きた。報道各社によると、サンタクロースの格好をした何者かがカラシニコフ機関銃で銃を乱射した。イスタンブール市長によると、35人が死亡し、約40人が負傷した。

「何が起きたか理解する間もなく、夫が私の上に倒れ掛かってきました。外に出るために、数人の体をどけなければいけませんでした」とシネム・ウヤニクさんはAP通信に語った。幸い、彼女の夫は重傷ではない模様。

「誰が銃を撃っているのかは見えなかったが、射撃音は聞こえました。彼女はハイヒールを履いていたので、彼女をおんぶして外に避難しました」とサッカー選手のセファ・ボイダス (Sefa Boydas) がツイッターに書いた。

「犠牲者は35人から40人だと言われていますが、さらに多い可能性があります。私が外に向かっている時に、人々が直接、遺体の上を進んでいたのを見たからです」とフランス通信がボイダスさんの言葉を引用した。

英ガーディアン紙がトルコ政府の報道担当者の言葉として襲撃者の殺害を報じたが、この情報は正式には確認されていない。

<http://sptnkne.ws/dgN8>

国連安保理、ロシア提出のシリア和平合意を採択

(スプートニク 2017年01月01日 23:19)

© AP Photo/ Seth Wenig <https://goo.gl/cUZyvF>

2016年12月31日、国連安保理はシリアの和平合意に関する決議を全会一致で採択。これは十分に和平合意の調印の前提となりうるもの。決議案はシリアでの戦闘停止と交渉の開始を見込んだ内容となっている。

<http://sptnkne.ws/dhaU>

トランプ氏はオバマ政権の政策の多くを廃止へ、次期米大統領報道官が明らかに

(スプートニク 2017年01月03日 11:46)

© AP Photo/ Pablo Martinez Monsivais <https://goo.gl/GGaeYd>

トランプ次期米政権で大統領報道官に就くスパイサー氏は1日、トランプ氏が20日の大統領就任初日に、オバマ大統領が任期8年で実行した政策の多くを「廃止する」と明らかにした。共同通信が報じた。

これらの政策は「経済成長や雇用創出」に悪影響を与えた政策と説明した。オバマ大統領は1日、自身のツイッターで任期を振り返り、国民皆保険制度につながる医療保険制度改革（オバマケア）や雇用創出、同性婚解禁などを実績に掲げた。

twitter.com/ <https://goo.gl/myxIDm>

スパイサー氏は、ロシア政府が米大統領選に干渉するためサイバー攻撃を仕掛けたとしてオバマ氏が米国駐在のロシア外交官35人の国外退去処分を含む対ロ制裁を発令したことについて「（報復措置として）適切か疑問だ」とも指摘した。

2015年に中国発のサイバー攻撃で米人事管理局の個人情報大量流出したと判明した際、オバマ政権が対中制裁に踏み切らなかったことと比較し、今回は重すぎるとの考えをにじませた。トランプ氏が就任後に制裁を見直すかどうかは明言しなかった。

<http://sptnkne.ws/dhaf>

トランプ氏が対露制裁解除しても米議員らが阻止か？

(スプートニク 2017年01月02日 15:57)

© AP Photo/ Susan Walsh <https://goo.gl/3cwnNf>

トランプ氏が対露制裁の解除を決めても、米議会からの反対に遭遇する。民主党のアダム・シフ下院議員は米ABCテレビの番組「ディス・ウィーク・ウィズ・ジョージ・ステファノプロス」に出演した中でこう語った。

シフ下院議員は「今採られている策がロシアを押さえつけるために十分だとは考えていない」と語り、トランプ氏が制裁解除に乗り出しても、これには民主党員のみならず、ジョン・マケイン議員をはじめとする共和党員も制裁強化を主張するだろうとの見解を表した。

米国は29日、新たな制裁措置を取った。大統領選挙の結果に影響を及ぼそうと試みたとして情報機関、会社数社、数人の個人を非難し、35人の外交官の国外追放を発表した。オバマ大統領は外交

官らを「ロシア情報機関員」だと呼んだが、非難の証拠を出すことは一切なかった。

ロシアのペスコフ大統領報道官は先に、米民主党全国委員会のデータベースに対するサイバー攻撃へのロシアの関与を否定した。

プーチン大統領は、ロシアは米国の行為への報復として米国人外交官らを国外追放することはないとする声明を表した。プーチン大統領は、ロシアは報復措置をとる権利を手元に残しつつも、「台所（の世間話）」のレベルの外交にまで自分をおとしめることはしないと明言した。

<http://sptnkne.ws/dhbr>

メイ英首相、Brexit 妨害の場合、貴族院を廃止か

(スポーツニク 2017年01月02日 17:01)

© REUTERS/ Eric Vidal <https://goo.gl/7T9WqI>

英国の閣僚がメイ首相に、貴族院が英国のEU離脱（Brexit）を妨害した場合、断固たる措置を取るよう提言した。英タブロイド紙 The Daily Mail が報じた。内閣は、貴族院の大多数を占める離脱反対派による厳しい反対に対して、政府は準備ができていなければならないと考えている。

同紙は「上院は、英国のEU離脱の途上に立ち邪魔をした場合に彼らを待つものは、実存的危機だと、認識する必要がある」と匿名の英国の大臣の発言を引用した。そのような「危機」としては、上院の廃止ないし上院議員の数と上院の権限の大幅な削減という改革がありえる。

このプランが検討されているのは、最高裁判所でBrexitの件が検討されていることを受けてのことだと、同紙は付け加える。加盟国のEU離脱についてのリスボン条約50条は、英国議会両院の同意を得てのみ有効になりうるとの判決がなされると見られている。

先に英国のエリザベス女王はテレサ・メイ首相との会談で首相がEU離脱の計画を教えてくれなかったことに「失望した」といった。

<http://sptnkne.ws/dhtG>

フランス、ニューイヤーで点火するのは花火じゃなくて車？

(スポーツニク 2017年01月03日 11:30)

© Sputnik/ Irina Gerashchenko <https://goo.gl/WXbz5A>

内務省の発表によれば仏国内では大晦日の夜、650台を越す自動車放火された。1月2日、同省

の広報部が明らかにした。

1年前の大晦日の夜に放火された台数はわずか 602 台。今年の元旦にかけての放火件数は増えたものの、過去 5 年で比較すると放火犯罪自体は減る傾向にある。

仏内務省は大晦日から元旦にかけての深夜、深刻な事件は発生しておらず、町には 10 万人を超える警官が出て警戒にあたったと発表している。

なお先に伝えられたところによると、バグダッドで起きた爆破テロで死者の数は 35 人に達した。

<http://sptnkne.ws/dhxG>

ロシア石油生産量、過去最高に

(スプートニク 2017 年 01 月 02 日 19:35)

© Sputnik/ V. Nemirovskiy <https://goo.gl/LvalvX>

12 月のロシアの石油、コンデンセート（軽質液状炭化水素）の 1 日平均生産量は前年比 3.74% 増となり、1 日 1,121 万バレルとなった。ブルームバーグがロシア連邦燃料エネルギー中央流通局 (CDU TEK) のデータを引用して報じた。

先にブルームバーグは、ロシアの 9 月の石油生産量は 1991 年のソ連崩壊後から初めて 1 日 1,100 万バレルを超えたと指摘。現在の生産量は、現代ロシア史上最も高いものとなっている。

ロシアの石油、コンデンセートの 12 月の総生産量は 4,740 万トンとなった。ロシアの 1 日あたりの石油輸出量は前年比 3.86% 増となり、536 万バレルとなった。CDU TEK のデータによると、12 月のロシアの天然ガスの 1 日生産量は前年比 4.6% 増となり、214 万立方メートルとなった。原油に関連ニュースはこちらから。<https://goo.gl/cK15AV>

<http://sptnkne.ws/dhgE>

2016 年、ロシアは穀物・豆類を 1 億 1900 万トン収穫した

(スプートニク 2017 年 01 月 02 日 20:22)

© Flickr/ Image Catalog <https://goo.gl/3qQBLU>

ロシアは 2016 年、穀物・豆類を純重量で 1 億 1,912.9 万トン収穫した。昨年は 1 億 480 万トンだった。連邦国家統計局より。

今年の小麦の収穫量は昨年の 6,178.6 万トンに対し 7,326.8 万トン。ライ麦は昨年 208.7 万トンに対し 254.4 万トン。トウモロコシは 1,317 万トンに対し 1,383.1 万トン、大麦は 1,754.6 万トンに対し 1,798.8 万トン、ライ小麦は 56.5 万トンに対し 62.4 万トン。オート麦は 453.6 万トンに対し 475.6 万トン、ソバは 86.1 万トンに対し 118.7 万トン、キビは 57.2 万トンに対し 63.1 万トン。コメは 111 万トンに対し 107.8 万トンに減少した。

先に大規模な露日協力の深化について報じられた。

<http://sptnkne.ws/dhxK>

バグダッドで仏大統領の到着日に大規模テロが発生

(スプートニク 2017 年 01 月 03 日 11:32)

© AP Photo/ Khalid Mohammed <https://goo.gl/DzfgnC>

バグダッドで起きた爆破テロで死者の数は 35 人に達した。2 日、BBC ニュースが報じた。テロが起きたのはバグダッドの近郊にあるマディナト・エスサドルの人出の多い広場。自爆テロ犯による犯行と見られている。トルコの政府よりの新聞「デイリー・サバフ」紙が警察と医療関係者の証言を引用して報道したところによれば、爆破物を積載した乗用車が爆発し、少なくとも 32 人の死者が出たほか、数十人が負傷した。

テロはオランダ仏大統領のイラク訪問の開始時期と重なった。オランダ大統領は 2 日、バグダッドでイラクの大統領及び首相との会談が予定されている。ロイター通信が報じた。12 月 31 日、バグダッドでは 2 度の爆破テロが発生。その結果 21 人が死亡した。テロは爆発装置の作動によるもので、朝のラッシュアワー時に商業地区のシナクで起きた。

なお先に伝えられたところ、在アルメニアロシア軍基地で働くビクトル・エメルヤノフ少佐の遺体が、同国首都エレバンのあるホテルで発見された。

<http://sptnkne.ws/dhxS>

米『The Nation』誌:米国を害するのはロシアではなく、ロシア恐怖症

(スプートニク 2017 年 01 月 03 日 00:59)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <https://goo.gl/L0Cwiy>

米国の前に立つ脅威について語る人は真実から程遠くないところにいる。ただ、その脅威はロシアからの危機という神話ではなく、愛国心の後ろに隠れているロシア恐怖症がもたらす、まったく現実的な脅威だ。米国の週刊誌『The Nation』でコラムニスト、パトリック・ローレンス氏がその

ような見解を示した。

キューバ危機が勃発した 1960 年代以来、最も強いものとなっている「ロシア恐怖症のけいれん」が米国社会を覆っている。ジョン・マケイン上院議員のような有名なロシア嫌いは、反露ムードの妥当性に疑問を呈した全ての嘘つきを癖でつい記録している。また、ニューヨーク・タイムズ紙のようなプレスは冷戦の最悪の時代のように、政府の立ち位置から一歩たりとも離れない。

ロシアに対する何の裏付けもない非難と、偽情報による攪乱というありきたりな方法の常日頃の繰り返しによる歴史への圧力は、不適切で歪んだ世界認識を導く。また、迷妄は何らいいことを導かないと、ローレンス氏は強調する。

さらに、ロシア恐怖症が米国政治を支配していることは、世界からの強まりつつある米国の孤立を加速させる危険があるとローレンス氏は指摘。ブッシュ Jr 政権時代から取られている「我々とともにいないものは、われわれに反対している」とのモットーを掲げた政策の継続は、国際舞台で支持を失うのはロシアではなく、米国自身になる、という事態を導く。

現代のロシア恐怖症噴出は、マッカーシズムと「魔女狩り」があった冷戦時代の遺産にすぎない。まさにそのために、米国は過去を乗り越え、「ロシアの侵攻」という妖怪との不毛な闘いを後にする必要があるとローレンス氏は結論付ける。

<http://sptnkne.ws/dhxZ>

キエフ、元旦に国粋主義者バンデラを讃える松明行列

(スプートニク 2017 年 01 月 03 日 02:20)

© REUTERS/ Gleb Garanich <https://goo.gl/jlich6>

1 月 1 日キエフ中心部でウクライナ民族主義の始祖ステパン・バンデラの生誕 108 年を讃える松明行列が行なわれた。行列には 1,000 人を越える賛美者が参加。ウクライナ最大の民営通信社「ウクライナ独立通信社」が報じた。

松明行列はキエフ中心部を通り抜け、独立広場（ユーロマイダン）で終了した。

行列では全ウクライナ連合「自由」とウクライナ民族主義者組織などの国粋主義者らがウクライナ国旗や民族主義的組織の旗を手に、「第 2 のハザール・カガン国（ロシアを示した表現）を倒せ」、「我々の信条は民族主義なり！ 我らの預言者はステパン・バンデラなり！」などと書かれたプラカードを掲げて練り歩いた。

ステパン・バンデラはウクライナ民族主義者組織の始祖。ウクライナ蜂起軍（UPA、ロシアでの活動は禁止）創設を発案した 1 人。同軍は主にウクライナ西部でソ連軍に対抗して戦い、第 2 次

世界大戦中は独ナチス軍と手を組んだ。

なお先にポーランドの首都ワルシャワで「ポーランド独立の日」に合わせに行われた民族主義者らの行進で、ウクライナ国旗が燃やされたと報じられた。

<http://sptnkne.ws/dhyg>

ロシア、魅力的な投資国ランキング入り

(スプートニク 2017年01月03日 11:00)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/4qYli5>

2017年、投資家を選ぶ最も人気のある新興市場のランキングにロシアが入った。ブルームバーグが報じた。「ロシア・ルーブルは、低金利の通貨で借り入れて、高利回りの通貨を買う投資家にとって、最高の賭けだ」とブルームバーグは指摘。

スイスのUBS Group AG銀行の評価によると。金利の低い通貨で資金を調達して、金利の高い通貨で資金を運用して利鞘を稼ぐキャリア・トレード戦略では、2017年度のルーブルへの投資の還元率は26%。これはEMEA（欧州、中東、アフリカ）市場の中では最も高い。

ランキングにはまた南アフリカ共和国、ブラジル、チリ、インド、インドネシアが入った。アナリストは、言及されたすべての国で政治情勢の改善が見られると指摘。さらに、これら市場の資産は、連邦準備制度の利上げとトランプ次期大統領の声明に関係したリスクによって引き起こされる外部からの衝撃に対して比較的強い。

<http://sptnkne.ws/dhym>

米男性、携帯のおかげでイスタンブールの銃乱射テロを生き延びる

(スプートニク 2017年01月03日 11:31)

© AFP 2016/ Yasin Akgul <https://goo.gl/YfSTXD>

イスタンブールのナイトクラブ「レイナ」で1月1日未明に起きた銃乱射事件で、米国のヤコフ・ラク氏は負傷したが生き延びた。銃弾が携帯に直撃したおかげで、動脈を貫通しなかったのだ。ラク氏は35歳を祝うために友人とともにイスタンブールを訪れた。襲撃の際、氏は足に2発の銃弾を受けたが、医者によると、2発目の銃弾はポケットに携帯が入っており、銃弾の勢いが弱まったおかげで動脈を貫通しなかった。結果、ラク氏はクラブから外に出され、地元病院に搬送された。

「おぞましい悲劇だ。あなた方の国は素晴らしいのに、これほどおぞましいテロを行うような人々がいることが残念だ」とラーク氏は述べた。

クラブでの銃乱射事件の結果、39人が死亡し、69人が病院に搬送された。テロの犠牲者の中には、ロシア人もいる。

<http://sptnkne.ws/dhxy>

ホロコーストの象徴のアウシュビッツ跡地の訪問者数、2016年に過去最多

(スプートニク 2017年01月03日 12:15)

© AP Photo/ Matthias Schrader <https://goo.gl/8DVfOU>

2日、第2次大戦中のナチス・ドイツに行ったホロコースト（ユダヤ人大量虐殺）の中心となったアウシュビッツ強制収容所跡の博物館は2016年の訪問者数が前年より多く約205万人となり、過去最多だったと発表した。

アウシュビッツ強制収容所跡はポーランド南部にあり、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産に登録されている。昨年7月にポーランド南部のクラクフでカトリックの若者の行事「世界青年の日」が開催され、参加した多くの若者が収容所跡を訪問することは博物館の訪問者数が増加した理由として挙げた。

博物館代表者は各地で紛争が続き、ポピュリスト的主張が勢いを得る中で、「過去の最も暗い警告に改めて耳を傾けることが必要だ」と訴えた。時事通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/dhx9>

イスラエル警察 ネットanyahu首相の尋問終える

(スプートニク 2017年01月03日 15:15)

© REUTERS/Amir Cohen <https://goo.gl/bKnWqR>

イスラエル警察は、汚職の疑いに関連して、同国の Netanyahu 首相の尋問を終えた。テレビ i 24 が伝えた。先に伝えられたところでは、捜査官3人が、尋問のため首都エルサレムにある Netanyahu 氏の邸宅に到着した。首相本人は、自分にかけているあらゆる疑惑を否定したとのことだ。テレビ局の情報によれば、尋問は約3時間に及んだ。

<http://sptnkne.ws/dhyE>

比・ドゥテルテ大統領、ダーイシュと関係と告白

(スプートニク 2017年01月03日 17:46)

© AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <https://goo.gl/eD0LDR>

フィリピンのドゥテルテ大統領がソーシャルニュースサイト「Rappler」のインタビューを受けて、大統領の親類がテロ組織「ダーイシュ（イスラム国、I S）」と連絡を取り合っていると語った。

ドゥテルテ大統領は、親類の中には、テロ組織の利益を守り、ダーイシュのテロリストと協力しているものもいると告白した。大統領によると、これは、ミンダナオ島で過激派を支持している人もいることに関係している。

同サイトが報じるところ、ドゥテルテ大統領はテロリストと関係を維持する意図はないとした上で、「共和国にのみ仕えている」と述べた。先に大統領は、フィリピンのある過激派組織がダーイシュと緊密に協力していると語った。

先にドゥテルテ大統領は、「良い奴のふりをする暇はない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/dh27>

トランプ氏が危機に対処と信じる米国人、50%未満

(スプートニク 2017年01月03日 18:45)

© AFP 2016/ Timothy A. Clary <https://goo.gl/A01L1b>

トランプ次期大統領が世界の危機に対処し、懸命に軍事力を使えると信じている米国人は50%未満。このようなデータは、米国の世論調査およびコンサルティング会社ギャロップによる世論調査によるもの。

ギャロップは米国50州に住む18歳から50歳にかけての数千人以上を対象に、2016年12月7日から11日にかけて世論調査を行った。調査結果によると、トランプ氏が国際危機に対処できると信じている回答者はわずか46%、氏が賢明に同国の国防を指揮できると信じているのは47%だった。

55%はトランプ氏が国益を堅持できると信じており、59%は、氏が国家経済を効果的に収める状態にあると回答。そして60%は、トランプ氏が議会と話をつけられると確信している。この数値は歴代大統領のジョージ・ブッシュやブッシュ Jr、ビル・クリントン、バラク・オバマの数値を下回ると指摘されている。

<http://sptnkne.ws/dh7K>

トルコ政権批判の有名デザイナー、イスタンブールで拘束【動画】

(スプートニク 2017年01月03日 19:13)

© AP Photo/ Lefteris Pitarakis <https://goo.gl/ZXmH84>

トルコ警察が同国首都イスタンブールのアタテュルク国際空港で、著名トルコデザイナー、バルバロス・シャンサル (Barbaros Şansal) 氏を拘束した。2日、トルコのヒュリエット紙が報じた。

同紙によると、原因となったのは、シャンサル氏が大晦日にソーシャルネットワークに掲載した動画。動画で氏は、トルコ指導部を大量拘束で批判し、墮落だと非難した。

動画で氏自身が述べたところ、動画を公開した時にはキプロス共和国にいた。トルコ政府の要請により、氏はイスタンブールに強制送還された。

同紙はまた、空港では氏を即刻処罰することを望んでいた人々が群となって氏を迎えたと報じる。怒り狂った市民たちは警官たちに包囲された。警官はシャンサル氏を拘束し、警察署に移送した。

11月4日、トルコ検察の要請により、国民民主主義党 (HDP) の共同党首のセラハッティン・デミルタシュ、フィゲン・ユクセクダー両氏を含む15人のトルコ議員が拘束された。トルコ政府は彼らが、非合法化されている反政府武装組織「クルド労働者党 (PKK)」とつながりを持っていると非難した。うち12人は後に逮捕された。

動画 <https://goo.gl/50ouP1>

<http://sptnkne.ws/dh52>

クレムリンの極東政策とトランプ・ファクター

(スプートニク 2017年01月03日 20:10 アンドレイ・イルヤシェンコ)

© Sputnik/ Caitlin Ochs <https://goo.gl/uXpNBR>

昨年ロシアの「東方転換」政策の中で、質的な変化が生じた。一方、米国の新大統領にトランプ氏が選出されたことでまた、その政策に重要な修正が持ち込まれる可能性が出てきた。その際、地域においても世界においても、ロシアの主要なパートナーとして残るのは中国だ。12月24日に行われた記者会見で、プーチン大統領は「露中には、国際問題の多くの問題に関し共通した立場がある」と強調し、次のように続けた—

「この事は言うまでもなく、あらゆる国際問題において、大変安定的で重大な要素になるだろう。我々は、中国との関係を大切にし、その更なる発展を期待している」。

中国の習近平国家主席が、杭州でのG20でプーチン大統領に示した主賓としての厚遇ぶり、国連安全保障理事会での反シリア決議に対し共に拒否権を行使した事、極東での対ミサイル防衛システム配備を受け入れることはできないという共通した立場、さらに南シナ海での合同海洋演習…こうした事が強調されたが、これらは、露中関係が質的に強化されていることを裏付けている。露中両国は、公式に同盟関係を宣言してはいないものの、実際のところ同盟国になりつつある。こうしたすべてのことは、ロシアと欧米の関係が危機的に尖鋭化した事、また中米関係が潜在的に悪化していることを背景に起こった。しかし、このプロセスのテンポは、トランプ氏が大統領ホストに就くと共に急速に加速化するものと見られている。

当選後すぐにトランプ氏は、中国の経済政策に対する彼の批判や海軍の艦船数を350にまで増やすプログラムが、選挙中の単なるパフォーマンスではないことを示した。すでに現在、中国政府は、トランプ氏の親台湾的行動に神経質に反応しており、南シナ海での水中無人機拿捕という形での脅しを匂わすシグナルを彼に送っている。あるいは、南シナ海に中国最初の空母「遼寧」を派遣し示威行為に出たりして、米国の主要なライバル、または敵とも言ってよい自分達の役割を確認している。著名な米国の政治学者サミュエル・ハンティントン氏は、すでに20年前に、文明の衝突という自分の概念を根拠づけるため、少なからぬ労力を費やしたが、彼が言わんとしたのはイスラム世界との衝突ではなく、まさに極東での衝突だった。

その一方で、中国と米国との緊張の高まりは、プーチン大統領にとって新しいチャンスとなるかもしれない。トランプ氏の勝利は、ロシア政府に、露米関係正常化に向けた思いがけない可能性を与えた。トランプ次期大統領は公然と、政治分野におけるロシアとの協力の必要性を訴えている。その際、トランプ氏の新しいチームは、米大統領選挙にロシアが介入したというあらゆる批判を、断固斥けている。

新たなチャンスが開けているのは何もロシアばかりではない、米当局にとってもそうだ。またExxonMobilの会長兼最高経営責任者（CEO）時代にプーチン大統領や、ロスネフチの社長で大統領の近い同志であるセチン氏と信頼関係を築いたティラーソン氏が国務長官に任命されたことも、注目すべきことだ。ロスネフチは、国営企業で、外貨収入の基本的な部分をロシアの国庫にもたらしている。

なお12月18日、自民党の山本一太・元内閣府特命担当相は、フジテレビに出演した中で、次のように発言した—

「ティラーソン氏を国務長官に任命したことでトランプ氏が本気で米ロ関係を動かそうとしていることは分かった。ただ、ティラーソン氏が国務長官になったからといって、米ロ関係が急激に変わるとは思っていない。」

とはいえ恐らく、二人のカリスマ的指導者が起こす「化学反応」が、露米関係復活において、小さな役割を果たすだろう。露米対話の主要なテーマの一つは、「ダーイシュ（イスラム国）」との戦いであり、シリアにおける平和調整問題である。しかし露米関係正常化の代償は、ロシア政府にとってどのようなものになるだろうか？ ロシア対外・国防政策評議会幹部会で名誉議長を務

めるセルゲイ・カラガノフ氏は、次のように見ている-「米国側は、ロシアを中国から引き離そうと試みるだろう。この事は、ここ20年間、西側の対ロシア関係において、実際まさに主要なモチーフの一つだった。日本も、ウィキリークスが公開した情報から判断すれば、厳格にこの路線を支持してきた」。

blogs.wsj.com/japanrealtime <https://goo.gl/HfUsVi>

米共和党は、かつてニクソン大統領とキッシンジャー国務長官が見事成功させた方法を繰り返す用意があるようだ。1970年代当時二人は、ソ連と対立していた中国との関係正常化を成功させた。ロシア政府は「冷戦」には米国に対するものと中国に対するもの、2つの前線が存在し、それがソ連に耐えきれない緊張をもたらし、ソ連崩壊を促したことをよく覚えている。しかし現在、ソ連よりもはるかに弱体化したロシアにとって、強大な隣国との対立は到底受け入れられない。とはいえロシアは、中国のために米国との関係を犠牲にすることはできないし、することもないだろう。プーチン大統領が提起している日本との関係復活の戦略的課題は、彼がアジアにおいて、中国を振り返ることなく、その政治路線を進めてゆく用意のあることを示している。

こうした条件の中、ロシア指導部にとって、最もふさわしいのは、アジア太平洋地域の安全保障問題に関する多面的対話のイニシアチブをとることだ。ここでの主なプレーヤーは、米国、中国、日本そしてロシアである。今年2017年中、このテーマは、ますます重要なものとなるだろう。4大国の枠内でのみ、安全保障問題の解決は可能だ。そしてロシア政府には、そのための良い条件がある。中国とは、特別な良い関係にあるし、米国とは関係正常化に向けた展望が開かれようとしている。そして12月半ばの、プーチン訪日後、日本とも質的に新しい関係が築かれようとしているからだ。

<http://sptnkne.ws/dh8b>

イスタンブール銃乱射の容疑者のものとみられる動画公開【動画】

(スプートニク 2017年01月03日 20:33)

◎ 写真: Youtube / Sputnik <https://goo.gl/7uDs4m>

トルコメディアが、イスタンブール中心部のナイトクラブ「レイナ」での銃乱射テロ実行犯と見られる男が映っている可能性がある「自撮り動画」を公開している。動画で男は、イスタンブール新市街中心部のタクシム広場を歩きながら自身を撮影。この動画が撮られたのがテロ前なのか後なのかは現在のところ不明。AP通信が報じた。

1月1日午前1時頃、トルコの首都イスタンブールのナイトクラブ「レイナ」で銃乱射事件が発生した。テロリストはクラブを警備していた警察を射殺し、クラブに押し入った。そして、700人以上の人がいた店内に向けて発砲した。39人が死亡、69人が負傷した。

現時点では、実行犯の身柄特定作業が続けられている。

動画 <https://youtu.be/rY0-cm2sIq8>

<http://sptnkne.ws/dh7R>

アサンジ氏、オバマ政権のロシア攻撃の理由を明らかに

(スプートニク 2017年01月04日 00:01)

© AFP 2016/ RODRIGO BUENDIA <https://goo.gl/SZJNmV>

オバマ政権は米選挙介入でロシアを非難することで、トランプ次期大統領の正当性をなくそうとしている。ウィキリークスの創始者、ジュリアン・アサンジ氏はそう述べた。米国のザ・ヒル紙が報じた。

アサンジ氏は、ウィキリークスの公開が米大統領選挙に影響したかとの質問に明確に答えられなかった。氏はまた、諸国政府や政治家の秘密情報の公開を活動基盤にしているウィキリークスは、ロシアや他国と連携していないとして、「私たちの情報源は、国家ではない」と強調した。

12月29日、オバマ大統領と米財務省は、いわく米国選挙システムに対してサイバー攻撃が行われたことを受けてロシアに対して制裁を発動した。

<http://sptnkne.ws/dh9W>

仏ルペン大統領候補：クリミア住民投票は合法

(スプートニク 2017年01月03日 23:30)

© AFP 2016/ Martin Bureau <https://goo.gl/iiDITG>

仏「国民戦線」党首、ルペン大統領候補は、クリミアのロシア再統合を違法だとは考えない。ルペン氏は「BFM TV」のインタビュー中に次のように述べた。

「住民投票が行われ、クリミアの住民がロシア再統合を望んだ。この住民投票に疑問を挟む根拠がわからない。」

ルペン氏はまた、テロ組織「ダーイシュ（イスラム国、IS）」との闘いの枠組みにおける露仏間の戦略的関係樹立の必要性を指摘した。

2014年の住民投票において、投票者の圧倒的多数がロシアへの再統合を支持した結果、クリミ

アはロシアの一部となった。ウクライナ政府は住民投票の結果を認めることを拒否した。ロシア政府は、地域の加入手続きは国際法の規範に則っていたと強調する。

フランス大統領選挙の1回目の投票は2017年4月に、上位2人の決選投票は5月に行われる。中道右派の「共和党」からはフィヨン元首相が大統領の統一候補に、「国民戦線」からは当主のルペン氏が出馬する。

<http://sptnkne.ws/dhBR>

米通商代表に弁護士ライトハウザー氏起用へ、トランプ氏

(スプートニク 2017年01月04日 00:17)

© Sputnik/ Caitlin Ochs <https://goo.gl/QPDR8S>

トランプ次期大統領は貿易交渉を担う米通商代表部（USTR）代表に、レーガン政権時代の同元次席代表で弁護士のロバート・ライトハウザー氏を起用すると発表した。CBSテレビがトランプ氏の政権移行チームの声明を引用して報じた。

オバマ政権で同ポストを占めているのはマイケル・フロマン氏。ライトハウザー氏はレーガン政権時代に米通商代表部次官代表を務めていた。現在、氏は貿易問題の弁護士である。

ライトハウザー氏は「レーガン政権の貿易政策発展と約20の2国間国際文書同意において、鍵となる役割を果たした」と政権移行チームの声明にはある。代表に任命された場合、氏は米商務長官候補のウィルバー・ロス氏と、通商政策などの戦略について助言する国家通商会議代表のピーター・ナバロ氏と緊密に連携した上で作業していく。

<https://goo.gl/Rz61xt>

1年でイラクの民間人1万9千人以上が死傷

(スプートニク 2017年01月04日 03:24)

© AFP 2016/ JM Lopez <https://goo.gl/612CYD>

国連イラク支援団（UNAMI）が、2016年、イラクの民間人6,800人以上が死亡し、さらに1万2,300人が負傷したと発表した。

UNAMIはまた、このデータはイラク西部のアンバール県における昨年5月、7月、8月、10月分の犠牲者の報告を含んでいないと指摘。

イラクでは2014年に町を占拠したダーイシュ（イスラム国、IS）からのモスル奪還作戦が行われている。作戦は昨年10月から続いている。米国が主導する国際有志連合の航空隊による活発な支持の下、イラクの軍事関係の省庁数庁が作戦を行っている。北部と東部からは、軍と対テロ部隊が町に突撃している。ダーイシュのイラクにおける「首都」モスル南部からは、イラクの連邦警察が進行している。

<http://sptnkne.ws/dhNT>

ロシアと日本のロボットがクリルを開発することになる？

（スポーツニク 2017年01月04日 06:01 ドミトリー・ヴェルホトウロフ）

© Fotolia/ Pixelbliss <https://goo.gl/JueXjc>

日本政府は、ロボット工学領域において野心的な目標を立てている。安倍首相は、2020年までに「ロボット革命」を実現し、その売り上げを2倍にするよう求めた。ロボット技術は、産業や社会部門での労働力不足といった国が抱える極めて重要な経済問題を解決すると期待されている。

「ロボット革命」の試験的ケースとして、大阪府門真市が選ばれた。この町を支える企業では以前から、労働力不足が深刻化している。

ロシアでもここ数年、ロボット工学に対する関心が増しており、国産モデル製造の試みも極めてうまく行っている。ついでに言えば、ロシアにとってロボットというのは、そもそも新しい概念ではない。ソ連における産業用ロボットの大規模開発は、1975年から1980年期の5ヵ年計画の中で始まり、間もなくソ連は、ロボット生産をリードする国の一つになった。1980年には、6千ものロボットが稼働し、1985年には、その数は63タイプ4万となり、世界の産業用ロボット総数の40%を占めるに至った。しかしソ連邦の崩壊は、こうした成果を台無しにしてしまった。ロボット工学は単になくなってしまったと言ってよい状況だった。今でも専門家達でさえ、それがどのように起こったのか明確に説明できないありさまだ。

ロシアの産業が再生を開始した2000年及び2010年代、ロボットは再び、企業にその姿を現すようになった。一連の企業が、輸入品を買ったのだ。ロボットの売り上げは、2012年は307、2013年は350と大きくはなかったが、2014年になって急増した。国際ロボット工学連盟の調査によれば、総数は4千にまで増えた。ただここで指摘しておかなくてはならないことは、当時ロシア国内では、産業用ロボットに対する関心が高くなかったという事実だ。それゆえロシア市場は、日本を含め外国製のロボットに占められていた。ただその代わりに、軍用や宇宙用のロボット開発に対する関心は、かなり高かった。2014年4月、ロシア国防省は、2025年までに軍用ロボットを開発するターゲット・プログラムを採用した。このプログラムはすでに、完全な戦闘用に使う事が可能なサンプルの製造に成功している。開発の努力は、ロシアが伝統的に強みを発揮してきた分野、つまり軍事や宇宙に集中して向けられていた。

しかし、開発の関心が産業用ロボットにも徐々に向けられるようになってきたようだ。まず自動車製造分野で、その後、金属加工業の分野でロボットへの関心が生じた。理由は、日本同様、労働力不足、それも熟練労働者の不足だ。ロシアは現在に至るまで、第2次世界大戦時に巨大な人的喪失を経験した後遺症に苦しんでいる。特にロシア東部、シベリアや極東、極圏地方では、深刻な人口動態学上の問題に直面している。そうした背景から、長期の露日経済協力プログラムにはロボット工学導入が提案されると思われる。

筆者の見るところ、ロボット工学における露日の協力は、いくつかの方向に最も大きな関心が向けられると思う。第一にそれは、医療ロボットである。ロシアでは外科医ロボット、その名も「ダ・ヴィンチ」が、腎臓移植や腹部大動脈の手術といった特別複雑な手術の際に使われている。

そして第二番目は、宇宙分野でのロボット利用だ。ロシアでは、国際宇宙ステーション（ISS）用に SAR-400 という擬人化ロボットシステムが開発された。2021年に実験が予定されている。

第三番目は、救助用及び消火用ロボットの分野での協力だ。この領域でロシアは、強い立場を持っている。絶えず自然災害に見舞われる日本にとって、こうしたロボットには特別関心が深いだろう。

さらに四番目、水中ロボット、特に深海で使えるロボットができれば、学術実験や地質学的探査活動など様々な用途で使用できる。こうした分野では、日本のロボット工学が持つ学術的ポテンシャルと可能性、そして革新的アイデアと研究開発が一つになることで、迅速かつ大きな効果を生むと期待できる。

それ以外に、ロシアに大変多く残されている未開の土地、また開発条件がひどく悪い僻地でのロボットの使用も今後有望だろう。石油やガス、有用鉱物の採掘、地下深い炭鉱での作業、厳しい自然条件下での道路やその他の施設建設などのロボット化も考えられる。クリル諸島の露日共同開発プログラム作りを通して、我々は、ロボットの助けを受けながら、共に大きな第一歩をしるすことができるかもしれない。

<http://sptnkne.ws/dhNU>

トルコのナイトクラブ乱射テロ、キルギス出身の男性に容疑

(スプートニク 2017年01月04日 07:33)

© REUTERS/ Huseyin Aldemir <https://goo.gl/zWXv9T>

現地のメディアによりますと、治安当局も事件にISが関与したという見方を強めていて、ISとのつながりが疑われる8人を拘束して調べるとともに、逃走中のキルギス出身とされる男の行方を捜している。

トルコ最大の都市、イスタンブールのナイトクラブに男が押し入って銃を乱射し、39人が死亡した事件で、治安当局はダーイシュ（通称I S、イスラミックステート）が関与したという見方を強め、I Sとのつながりが疑われる8人を拘束して調べるとともに、逃走中の容疑者の行方を追う。

トルコのイスタンブールの中心部にあるナイトクラブに、1日に男が押し入って銃を乱射し、外国人を含む39人が死亡、およそ70人がけがをした事件で、現地の主要メディアは3日、治安当局の話として、逃走中の容疑者は去年11月20日に中央アジアのキルギスから妻と2人の子どもとともに、飛行機でイスタンブールに来たと伝えた。

男はその後、首都アンカラを経て、トルコ中部のコンヤでアパートを借りて滞在したあと、先月29日に陸路で再びイスタンブールに入ったとされる。

前日にもトルコ当局は同姓同名のキルギス人の身柄を拘束し、調べたが、すでに釈放した。また、一部の地元のTRTテレビの報道によれば、現在捜査中の容疑者は家族とともにシリアからトルコに入国した。

この事件をめぐっては、過激派組織I Sがインターネット上に声明を出し、トルコが隣国のシリアでI Sへの軍事作戦を続けていることへの報復として、ナイトクラブを襲撃したと主張した。

<http://sptnkne.ws/dhNY>

どうしてロシア人は毎年お正月に同じ映画を見るのか？【動画】

（スプートニク 2017年01月04日 10:38 タチヤナ・フロニ）

◎ 写真: Mosfilm <https://goo.gl/GwQRnr>

お正月はまず間違いなくロシア人がもっとも愛する祝日である。しかし、これは何もロシア人に限ったことではない。世界中どこでも、お正月の伝統やお祝いの慣習は何よりも華やかで幻想的なものである。ロシア人にとってお正月休暇は一年で一番長い休暇である。というのも、そのまま正教のクリスマスのお祝いにつながっていくからだ。

カトリックとは違い、正教のクリスマスはお正月前ではなく、お正月後、1月6日から7日にかけての夜に祝われるのだ。そして、ロシア人はこうした祝日の一部を、旅行に行ったり、家族や友人と宴席を囲んだりするだけでなく、当然、ただテレビを見て過ごしたりもする。

もっとも愛すべき幻想的な冬の祝日には奇跡が起こると信じたくなるものだ。とはいえ、私たちが奇跡に求めているものは実はとても単純なものだったりする。それは大切な人と一緒にいること、あるいは、愛を見つけることである。そのため、お正月に上映される映画やテレビ映画は、ほぼすべてがこれらをテーマにしたものとなる。そして、ロシア人はその習慣を変えるつもりがない。

こうして、ロシアではもう 40 年もの間、毎年大晦日になると、皆の大好きな映画『運命の皮肉、あるいはいいお湯を！』が放送され続けている。未だに観客を飽きさせることのないこの映画だが、いったい何がロシア人をそんなに惹きつけているのだろうか？ 一見したところ、この映画のお正月ストーリーに何ら特筆すべきところはない。主人公は昔からの習慣で、大晦日に友人と一緒にバーニャ（サウナ）に行く。そこから映画の魔術が始まり、観客は目が離せなくなる。そして、エンドロールが流れるときになってはじめて、お正月の夜には本当に魔法が起こり得ることに気付くのだ！

当然、主人公にとってそれは、全く予期していなかったところからやってきた愛である。すっかり酔っ払い、最初は不遜に思えた男性が、突然、胸を打たれるような優しい医師であることが分かる。運命の皮肉が彼をモスクワレニングラード直行便で目的の住所に届けたが、それは愛という住所だった！もちろん、ストーリーの展開をすべてお伝えするつもりはない。ただ、この映画がヒットした大きな要因は、俳優たちの素晴らしい演技だけではないことを指摘しておきたい。

音楽も大きな役割を果たしたのだ！映画『運命の皮肉、あるいはいいお湯を！』では、マリーナ・ツヴェタエワ、ボリス・パステルナーク、ベーラ・アフマドゥリナなど、ロシアの偉大な詩人のすばらしい詩にのせた曲が数多く使われており、感動的な詩のフレーズがストーリーの魔法と有機的に絡み合っている。映画の曲はその後、独自の人生を生き、今でもロシアで愛される曲となり、常にラジオや映画で流されている。

動画 <https://youtu.be/3I1Ai0xEnVs>

そもそも、音楽はすべてのお正月映画になくてはならないものである。この分野のロシアの古典といえば、間違いなく「カーニバルの夜」である。この映画が当時のソビエトで封切り上映されたのは 1956 年のこと。それから永遠のようなときが流れたように思われる。しかし、この作品は今も変わらず驚くほどに新鮮で、お正月らしいお祝いの雰囲気を作り出している。この映画ではじめて銀幕に輝いたのが驚くべき才能を湛えた女優、リュドミーラ・グルチェンコだ。これが彼女のデビュー作である。後に彼女は芝居の才能を花開かせたが、大多数の観客を魅了したのは彼女の類い稀なる音楽性だった。

リュドミーラ・グルチェンコのこの才能はこの映画でいかに発揮された。ストーリーとしては、主人公である若い女性が新年のお祝いを本格的な楽しいカーニバルにすべく、官僚主義的な上司と戦い、奮闘するというもの。そして、彼女はそれを鮮やかにやってのける！人々はもともと計画されていた退屈なイベントの代わりに、ジョークを飛ばし、ダンスを踊り、歌を歌って、私たちが普段考えるような祝日を祝うのである。『カーニバルの夜』で使われた『五分』という曲は大ヒットし、今やこの曲のないお正月コンサートなど想像もできないほどだ。

動画 <https://youtu.be/12kPdU6A71o>

21 世紀に入ってからのお正月映画で、ロシアのヒット作品となったものは何だろうか？ おそらく、過去 5 年では、もっともお正月らしいタイトルの映画『モミの木』だろう。お正月という幻想的な

祝日にはモミの木が欠かせない。だから、そのまわりで主人公たちがさまざまなお正月の物語を繰り広げるのもうなずける。毎年、新たな物語が生まれており、このお正月には第5弾「モミの木5」が封切りになる。そして、映画館はお正月という素敵な祝日の魔法に触れたいと願い続ける観客でいっぱいになること間違いなしだ。

<http://sptnkne.ws/dhPb>

トルコのナイトクラブ襲撃 実行犯の身元に関する新情報-マスコミ

(スプートニク 2017年01月04日 19:37)

© AP Photo/ Emrah Gurel <https://goo.gl/kfWjlj>

ロイター通信によると、トルコのチャブシオールは、同国イスタンブールのナイトクラブで起こったテロの実行犯の身元が特定されたと伝えた。トルコで4日、イスタンブールでのテロに関与した疑いでイスラム主義者5人が拘束された。作戦はトルコのイズミルで実施された。拘束者は全員、今回のテロ事件で犯行声明を出したテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている）」のメンバーとみられている。

先にトルコのマスコミが警察関係者の話を引用して伝えたところによると、テロリストはウズベキスタン人あるいはキルギス人。1月1日未明、イスタンブールのナイトクラブ Reina が襲撃された。テロリストは入り口でクラブの警備にあたっていた警察官を射殺して中に入り、銃を乱射した。事件当時クラブには700人以上がいた。トルコ内務省によると、39人が死亡、69人が負傷し、犯人の捜索が続けられている。

<http://sptnkne.ws/dhTv>

パキスタンで爆発。女性、子ども、警官5人などが負傷

(スプートニク 2017年01月04日 19:03)

© REUTERS/ Murad Sezer <https://goo.gl/gTstFy>

パキスタンのカイバル・パクトゥンクワ州の町デーラー・イスマーイール・ハーンで4日午前、警察車両がバス停の近くを走行していた時、バス停で爆発が起きた。スプートニクが報じた。爆発の結果、警官5人、女性2人と子どもを含む19人が負傷した。明らかになったところ、15キロの爆発物がバス停に仕掛けられていた。現在、負傷者全員に治療が行われている。警察が事件を詳しく調査している。

<http://sptnkne.ws/djpk>

ヒトラーの『我が闘争』再出版 ベストセラーに-マスコミ

(スプートニク 2017年01月04日 20:00)

© REUTERS/ Fabrizio Bensch <https://goo.gl/mPyv31>

アドルフ・ヒトラーの著書『我が闘争』は、歴史の中で最も危険な書籍の一つとして考えられていた。ヒトラーが政権を握る前に書かれた同書は、第2次世界大戦終結後70年にわたって多くの国で出版が禁止されていた。しかし2016年にドイツで再出版され、独紙 Tagesspiegel によると、ベストセラーとなった。

『我が闘争』を再出版したミュンヘンの現代史研究所の職員たちは、これほど人気が出るとは予想していなかったという。当初準備されたのは4,000部だったが、現在第6版の発売が準備されており、販売部数は8万5,000部に達した。35週にわたってドイツでベストセラー入りしたという。またフランス語と英語での出版も計画されているほか、ドイツの学校で同書籍を学ぶことも検討されているという。ロシアでは『我が闘争』は過激な本のリストに含まれており、再出版することはできない。

なお再出版された『我が闘争』には、歴史家たちの3,000以上の注釈が付けられている。ヒトラーは1924年に『我が闘争』を執筆した。ヒトラーは書籍の中で国家社会主義思想を述べた。初版が世に出たのは1925年、その8年後、ヒトラーが政権を握った後には読むことが義務付けられ、ドイツで最も発行部数の多い書籍となった。

<http://sptnkne.ws/dja7>

露国防省 巡洋艦「アドミラル・クズネツォフ」航空隊のシリア沖での活動を公開【動画】

(スプートニク 2017年01月04日 22:12)

◎ 写真: Ministry of defence of the Russian Federation <https://goo.gl/LLn1EI>

露国防省は、シリア沖で巡洋艦「アドミラル・クズネツォフ」号の航空隊が出動する様子を映した動画を公開した。

動画 <https://youtu.be/2IiLArWYsLU>

先に、「アドミラル・クズネツォフ」号と原子力ミサイル重巡洋艦「ピョートル大帝」号が1月に地中海遠征を終了する可能性があるという報じられた。

<http://sptnkne.ws/djam>

ウィキリークス ヒラリー・クリントン氏の消えた電子メールの情報提供に2万ドルの報酬を出す と発表

(スプートニク 2017年01月04日 22:30)

© AP Photo/ Julie Jacobson <https://goo.gl/nM43hu>

内部告発サイト「ウィキリークス」は、民主党の元大統領候補ヒラリー・クリントン氏の消えた電子メールの情報提供に2万ドルの報酬を出すと発表した。ウィキリークスは、重要な情報の破棄に関与したオバマ政権の人物の摘発あるいは逮捕につながる情報提供に報酬を出すという。

[twitter.com/ https://goo.gl/Cunkyp](https://twitter.com/https://goo.gl/Cunkyp)

このきっかけとなったのは、ウィキリークスのサイトに掲載された2009年付けの米国立公文書館の内部向けの書簡。同書簡では、当時クリントン氏が国務長官を務めていた米務省の情報が入った容量2TBのハードディスクの紛失について伝えられている。ディスクには、「マル秘」の公印のある書類も含まれていた。

[twitter.com/ https://goo.gl/14jrJn](https://twitter.com/https://goo.gl/14jrJn)

<http://sptnkne.ws/djbe>

ロシア空軍の支援のもと、シリアで3万5千の戦闘員殲滅

(スプートニク 2017年01月04日 23:11)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <https://goo.gl/8FnDKn>

ロシア航空宇宙軍の支援のもと、シリアで3万5,000人の戦闘員が殲滅された。ロシア国防省のイェゴリ・コナシェンコフ報道官が次のように述べた。

「ロシア航空宇宙軍の支援のもと、シリア領土の1万2360平方キロと499個の居住地域が戦闘員から解放された。725の養成キャンプ、405の弾薬製造工場と工房、テロリストの軍事兵器1,500個、204人の指揮官を含む3万5,000人の戦闘員が殲滅された。」

報道官は、テロ組織から448台の戦車や他の軍事装甲車、57の多連装ミサイルシステム、418のお手製多連装ロケット砲、410の迫撃砲、2万8,000以上の火器が押収されたと指摘。

さらに、1420ヘクタールで爆発のおそれがある物体26853個が除去、処理された。

シリアには数万トンの人道支援物資、医療品、必需品が運び込まれ、地元住民に渡されている。また、支援物資供給には国連、アルメニア、ベラルーシ、セルビア、インド、中国、カザフスタン

が参加している。

<http://sptnkne.ws/djc6>

EUはユーロを廃止するのか？ ルペン仏大統領候補の呼びかけ

(スポーツニク 2017年01月05日 01:17)

© Fotolia/ Mnimage <https://goo.gl/qjG20B>

仏「国民戦線」党首のルペン大統領候補が、自身が選出された場合、フランスの国家債務は同国の新たな通貨で再計算されると述べた、ロイターが報じた。

ルペン氏はまたEU諸国に、ユーロという形での統一通貨を廃止し、ユーロに先立ちEUの通貨システムで1979年から98年にかけて用いられていた欧州通貨単位、エキュ (European Currency Unit = ECU) に戻るよう呼びかけた。

フランス大統領選挙の1回目の投票は2017年4月に、上位2人の決選投票は5月に行われる。中道右派の「共和党」からはフィヨン元首相が大統領の統一候補に、「国民戦線」からは当主のルペン氏が出馬する。

<http://sptnkne.ws/djft>

露国防省 CIA長官の「焦土作戦」に関する発言に返答

(スポーツニク 2017年01月05日 05:45)

© REUTERS/ Larry Downing <https://goo.gl/fJJXm9>

シリアの新たな停戦に関する合意は、米国の参加なしに締結された。露国防省のコナシェンコフ報道官が発表した。報道官は、ロシアがシリアで「焦土作戦」を用いたとする米CIAのブレナン長官の発言にコメントした。

コナシェンコフ報道官は、「最も重要な成果は、現米政権抜きで、より正確にはCIA抜きで、イランとトルコと一緒に、12月30日に発効した停戦およびアスタナでのシリア紛争解決に関する協議に向けた準備に関するシリア反体制派組織との合意の締結に初めて成功したことだ」と指摘した。

またコナシェンコフ報道官は、「ブレナン氏は、どのようにして国際的な連合がロシアの航空宇宙軍の作戦が始まるかなり前の2012年から、シリアの合法的な政府を最大限弱体化させるために、組織的かつ首尾一貫してシリアの全ての経済インフラを破壊したかをよく知っている」と述べた。

さらにコナシェンコフ報道官は、驚くべきことに、テロ組織「ダーイシュ（I S、イスラム国）」の収入源となり、戦闘員らが違法な石油取引で月に数千万ドルを稼ぎ、それをういて自分たちの部隊に世界中から傭兵たちを募ることを可能としている。すでに「ダーイシュ」に占領された石油施設だけは、米国の空爆にさらされなかったと指摘した。

<http://sptnkne.ws/djn5>

ベネズエラで副大統領任命、大統領は不信任決議案に備えて後継指名した

(スプートニク 2017年01月05日 09:53)

© REUTERS/ Carlos Garcia Rawlins <https://goo.gl/5eZgnc>

A F P通信によると、南米ベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領は4日、2017～18任期の新副大統領に北部アラグア州のタレク・エルアイサミ知事（42）を指名した。

経済混乱をめぐり野党などから罷免要求を突きつけられているマドゥロ大統領が失職した場合の後任となるため、事実上の後継指名となる。

テレビ放送された閣議でマドゥロ大統領が明らかにした。エルアイサミ氏はウゴ・チャベス前政権で内務・法務相を務めた。また、同じ放送で新経済・財政相と新石油産業相も指名された。リアノーヴォスチ通信が報じた。

<http://sptnkne.ws/djpy>